

教育課程委員会報告

「教育課程」に関する調査

- I 教育課程について
- II 学校改革について
- III 産学連携・地域連携について
- IV 学習指導・評価について

(令和3年10月)



# 目 次

ま え が き	1
研究の目的	2
研究の経過	2
調 査 報 告	3
I 教育課程について	3
○ 調査目的	
1 教育課程の実施について	
(1) 編成上の基本的な考え方について	
(2) 取り組む内容について	
(3) 卒業までの履修単位について	
(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について	
(5) 進学希望者の指導について	
(6) 大学入試・外部検定試験について	
(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて	
(8) 遠隔システムについて	
2 まとめ	
II 学校改革について	15
○ 調査目的	
1 学校改革・活性化について	
(1) 学校改革・学校活性化について	
(2) 職員の意識改革について	
(3) 長期休業期間について	
(4) 学校目標・学校評価・グランドデザインについて	
2 まとめ	
III 産学連携・地域連携について	19
○ 調査目的	
1 インターンシップについて	
(1) インターンシップの実施について	
(2) 実施している学校の実施内容について	
(3) インターンシップが実施できない理由について	
(4) 2020年度以降の実施対象者について	
2 デュアルシステムについて	
(1) デュアルシステムの実施について	
(2) デュアルシステムの実施内容について	
(3) デュアルシステムを実施していない学校の実施上の問題点について	
3 地域との連携について	
(1) 生徒による地域活動について	
(2) 実施している学校の実施内容について	
(3) 地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて	
(4) 実施している学校の実施内容について	

4	高・大学等連携について	
	(1) 大学や専門学校等との連携の実施について	
	(2) 実施している学校の実施内容について	
5	学校開放講座について	
	(1) 学校開放講座の実施について	
	(2) 実施している学校の実施内容について	
6	まとめ	
<b>IV</b>	<b>学習指導・評価について</b> .....	<b>28</b>
○	調査目的	
1	授業評価について	
	(1) 生徒による授業評価について	
	(2) 実施している学校の授業への還元について	
	(3) 地域の人や保護者による授業評価について	
	(4) 取り組んでいる学校の授業への還元について	
2	学習評価の改善について	
	(1) 学校全体での改善について	
	(2) 体制づくりについて	
	(3) 評価指標や評価方法について	
	(4) 観点別評価について	
3	まとめ	
<b>あ</b>	<b>と が き</b> .....	<b>31</b>
<b>資</b>	<b>料</b> .....	<b>33</b>

## ま え が き

全国工業高等学校長協会の教育課程委員会は、平成 30 年度から九州地区が担当になり、研究を開始させました。本委員会では、教育課程の編成、学校改革、産学連携、学習指導等についてアンケートを実施し、各学校がどのように工業教育を実践しているかを集約・分析し、今後の工業教育推進に資するように調査・研究を行うものです。

これまで、工業教育においては、平成 7 年に文部科学省が提唱した「スペシャリストへの道」をもとに、将来のスペシャリストの育成に取り組んできました。全国工業高等学校長協会では、平成 17 年度に「全国工業教育理念検討委員会」が最終報告をまとめ、工業教育の指針を示しています。平成 25 年度からは、現行の高等学校学習指導要領が年次進行で実施となり、専門高校は、①将来のスペシャリストの育成、②地域産業を担う人材の育成、③人間性豊かな職業人の育成に取り組んできました。そして、平成 30 年 3 月に改訂された高等学校学習指導要領が、いよいよ令和 4 年度から年次進行で実施されることとなります。

このたびの調査は、主に現行における学習指導要領をもとにした工業教育等に関して、調査・分析したものです。新学習指導要領が示されたことに伴い、すでに各校においては、新しい取り組みや実践に着手されているものと考えます。今後は、その新しい取り組みや実践についても調査・分析したいと考えています。

本委員会では、年度初めのアンケート結果を地域別にまとめ、表とグラフで示すとともに、各アンケート項目についてコメントし、大項目ごとにその概要をまとめました。各高等学校におかれましては、将来の学校像を検討し、特色ある学校づくりや開かれた学校づくりをするうえで、この調査結果を参考にし、役立てていただければ幸いです。

本調査に御協力いただいた会員校の関係各位に御礼を申し上げます。

委員長	大 迫 浩 之	鹿児島県立隼人工業高等学校長
副委員長	大 保 智	鹿児島県立鹿児島工業高等学校長
委員	堀之内 公 郎	鹿児島県立薩南工業高等学校長
委員	帆 西 弘 幸	鹿児島県立川内商工高等学校長
委員	碓 山 浩	鹿児島県立出水工業高等学校長
委員	中 間 淳 一	鹿児島県立加治木工業高等学校長
委員	末 吉 成 人	鹿児島県立鹿屋工業高等学校長

令和 3 年 10 月

公益社団法人 全国工業高等学校長協会  
調査研究部 教育課程委員会

## 研究の目的

現行の学習指導要領は平成 21 年 3 月に告示され、平成 25 年度から実施されている。教職員には研究と修養に励むことや、養成と研修の充実が求められてきた。各会員校においても、工業教育の在り方等について社会の変化に対応しながら見直すとともに、その充実と改善に努めてきたところである。

平成 30 年 3 月には新学習指導要領が公示され、これまでの取り組みや成果等を踏まえながら、教育課程全体をもう一度見直し、改善を図っていく必要がある、各会員校はこれらに基づく新しい教育課程を創る準備をされていることと推察する。

そこで、教育課程委員会では、これまでの各会員校の工業教育の推進及び工業技術者の育成について、全国の工業高等学校をはじめ工業系の高等学校に、以下の項目について現状調査を行い、その集約・分析を行った。

### <調査項目>

- I 教育課程について
- II 学校改革について
- III 産学連携・地域連携について
- IV 学習指導・評価について

## 研究の経過

令和 2 年 1 1 月 1 9 日	令和 2 年度第 3 回教育課程委員会開催 令和 3 年度の調査研究のテーマ、調査項目及び アンケート内容についての検討
令和 3 年 5 月 初旬	会員校へのアンケート調査
令和 3 年 6 月 1 2 日	令和 3 年度第 1 回教育課程委員会開催
令和 3 年 7 月 1 日	アンケートの集約と分析作業開始
令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年度第 2 回教育課程委員会開催
令和 3 年 8 月 1 8 日	令和 3 年度第 3 回教育課程委員会開催
令和 3 年 7 月～8 月	アンケートの集約結果の検討と分析作業 アンケートの集約結果のまとめと研究報告書案作成 調査のまとめと研究報告書最終案の提出
令和 3 年 1 1 月予定	令和 4 年度の調査研究についての検討

これらの調査は、全会員の校長を対象に、悉皆調査を行った。下表に回答状況を示す。

なお、調査項目によっては一部未回答の学校があり、設問によっては回答に重複を許しているため、各調査において合計の学校数が異なる。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
対象校	19	77	115	48	67	74	60	27	104	591
回答数	19	77	115	47	67	73	60	26	104	588

# 調査報告

## I 教育課程について

### ○ 調査目的

現行高等学校学習指導要領に基づく教育課程が、数学、理科及び理数に属する科目においては平成24年度から先行実施され、平成25年度より年次進行で実施されている。その後新学習指導要領が平成30年3月に公示され、各学校でもこれまでの取り組みの成果等を踏まえながら教育課程の見直しや改善が図られている。来年度から新学習指導要領が年次進行で進められることから更に改善等の検討が加速されることと推察するが、教育活動の充実・発展に資するため、各学校の教育課程への対応状況について調査した。また、進学希望者に対しての学習指導についても昨年度と比較するために調査した。

## 1. 教育課程の実施について

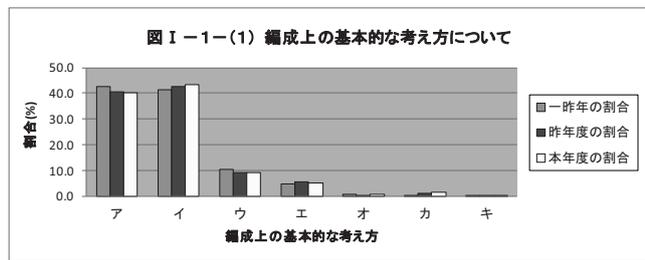
### (1) 編成上の基本的な考え方について

編成上の基本的な考え方は何ですか。(2つ以内)

- ア 基礎的な学力の定着      イ 専門的な技術・技能教育の充実  
 ウ キャリア教育の推進      エ 大学等進学希望者への対応  
 オ グローバル化への対応      カ 産業界との連携      キ その他

表 I-1-1 (1) 基本的な考え方について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	17	14	4	2	1	0	0	38
東北	56	69	16	8	1	2	0	152
関東	87	91	23	16	4	6	2	229
北信越	37	38	7	6	0	5	0	93
東海	53	58	9	6	0	1	0	127
近畿	58	63	12	10	1	0	0	144
中国	45	51	11	4	0	1	1	113
四国	22	22	6	2	0	0	0	52
九州	86	91	17	5	1	0	0	200
合計	461	497	105	59	8	15	3	1148
本年度の割合	40.2	43.3	9.1	5.1	0.7	1.3	0.3	100
昨年度の割合	40.6	42.7	9.3	5.5	0.4	1.2	0.3	100
一昨年度の割合	42.7	41.3	10.4	4.6	0.5	0.5	0.1	100



ここ数年、傾向は大きく変わっておらず、「基礎的な学力の定着」「専門的な技術・技能教育の充実」が40%を超えており、「グローバル化への対応」「産業界との連携」は1.3%と少ない。

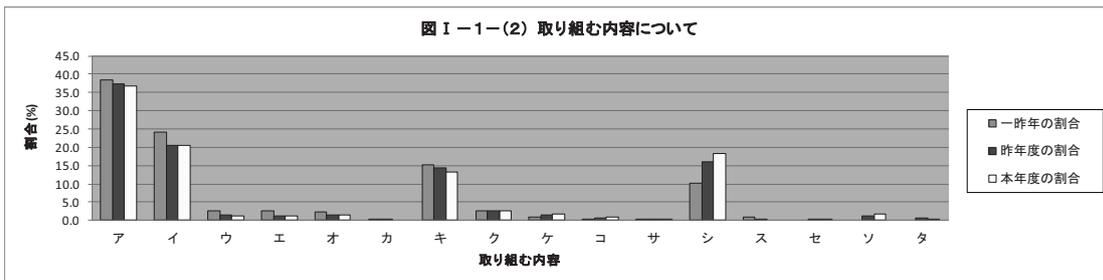
### (2) 取り組む内容について

教育課程の実施にあたって、特に取り組む内容は何か。(3つ以内)

- ア 基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用      イ 学習習慣の確立  
 ウ 伝統や文化に関する教育      エ 環境保全に関する教育  
 オ 自他の生命を尊重する精神の涵養      カ 食育の推進      キ 安全教育の推進  
 ク 言語能力の育成      ケ 理数教育      コ 道徳教育      サ 外国語教育  
 シ 職業教育      ス 主権者教育      セ 消費者教育      ソ 情報教育      タ その他

表 I-1-1 (2) 取り組む内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	合計
北海道	19	12	0	2	0	0	4	2	0	1	0	11	0	0	0	0	51
東北	73	39	1	3	3	0	24	3	2	2	1	39	0	0	1	0	191
関東	109	61	6	5	8	0	36	8	10	3	4	54	0	1	5	2	312
北信越	46	23	1	2	0	0	15	5	1	1	0	32	0	0	2	1	129
東海	65	36	1	2	3	0	19	7	7	0	1	28	0	0	4	1	174
近畿	70	42	3	1	2	0	19	7	3	1	0	37	0	0	7	0	192
中国	58	32	2	0	3	0	28	2	1	1	0	29	0	0	1	1	158
四国	26	20	2	1	0	0	5	2	0	1	0	10	0	0	0	2	69
九州	103	51	1	1	5	0	55	2	1	3	0	43	0	0	5	0	270
合計	569	316	17	17	24	0	205	38	25	13	6	283	0	1	25	7	1546
本年度の割合	36.8	20.4	1.1	1.1	1.6	0.0	13.3	2.5	1.6	0.8	0.4	18.3	0.0	0.1	1.6	0.5	100
昨年度の割合	37.3	20.6	1.5	1.2	1.4	0.2	14.5	2.5	1.6	0.6	0.4	16.2	0.1	0.1	1.2	0.7	100
一昨年度の割合	38.3	24.3	2.6	2.5	2.3	0.1	15.1	2.6	0.9	0.1	0.3	10.2	0.8				100



「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」「学習習慣の確立」は20%を超えているもののやや減少傾向にある。昨年から追加した「消費者教育」「情報教育」は少ない。

**(3) 卒業までの履修単位について**

(学科・コースによって異なる場合は、単位数を代表的な学科・コースについて記入してください。)

	全員履修科目単位数		選択科目単位数(最大)		総合的な学習の 時間の単位数 (代替は含まない)	課題研究の 単位数 (代替を含む)
	普通科目	専門科目	普通科目	専門科目		
総計	(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

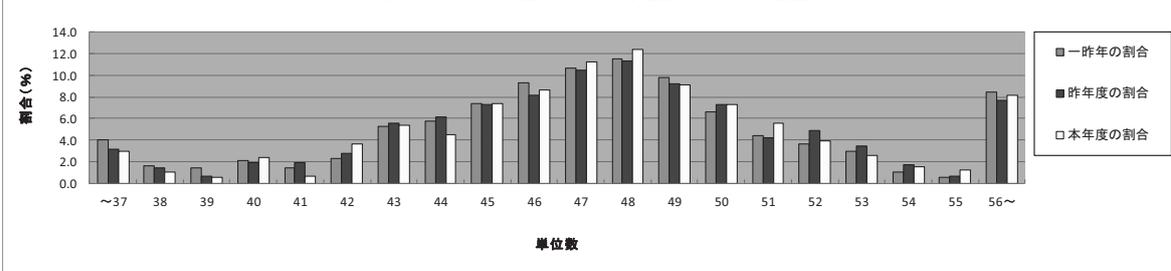
**① 卒業までの履修単位について(学科・コースによって異なる場合は代表的な学科・コースで回答)**

**A : 全員履修科目単位数(普通科目)**

表 I-1-1-(3)-① A : 卒業までの履修単位数(全員履修科目単位数・普通科目:3年総計)

	~37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56~	合計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	3	2	2	1	1	0	1	0	1	19
東北	2	0	0	2	1	3	0	1	1	4	9	15	11	8	6	4	3	2	2	3	77
関東	5	2	0	2	1	3	6	5	10	9	10	17	10	10	5	4	2	1	1	12	115
北信越	0	0	1	3	0	0	2	0	3	1	9	4	3	4	2	5	4	3	0	3	47
東海	2	3	0	4	1	3	7	7	6	7	3	5	1	3	3	1	2	0	1	6	65
近畿	5	0	1	1	0	5	8	4	7	6	5	4	6	4	2	1	1	1	2	8	71
中国	0	1	0	1	0	2	2	2	7	6	7	9	7	2	3	4	1	0	1	4	59
四国	0	0	0	0	0	2	0	1	3	5	3	3	5	2	0	0	1	0	0	1	26
九州	3	0	1	1	1	3	6	6	5	12	12	12	8	7	10	3	1	1	0	9	101
合計	17	6	3	14	4	21	31	26	43	50	65	72	53	42	32	23	15	9	7	47	580
本年度の割合	2.9	1.0	0.5	2.4	0.7	3.6	5.3	4.5	7.4	8.6	11.2	12.4	9.1	7.2	5.5	4.0	2.6	1.6	1.2	8.1	100
昨年度の割合	3.1	1.4	0.7	1.9	1.9	2.8	5.6	6.1	7.3	8.2	10.5	11.3	9.2	7.3	4.2	4.9	3.5	1.7	0.7	7.7	100
一昨年の割合	4.0	1.6	1.4	2.1	1.4	2.3	5.2	5.8	7.3	9.3	10.7	11.5	9.8	6.6	4.4	3.7	3.0	1.0	0.5	8.4	100

図 I-1-1-(3)-① A : 卒業までの履修単位数(全員履修科目単位数・普通科目:3年総計)



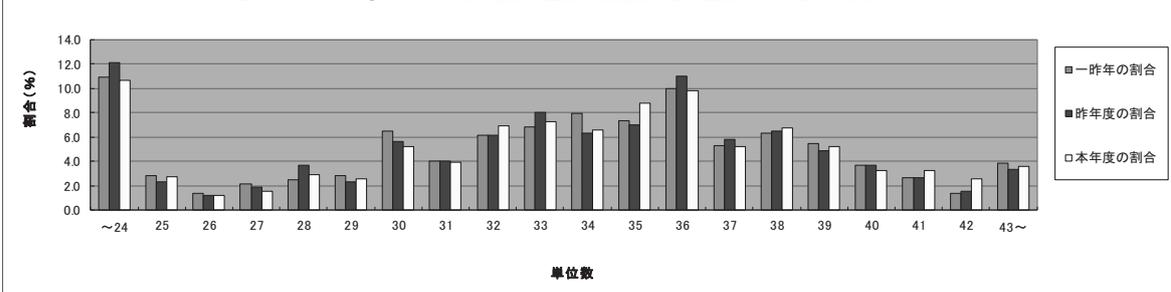
全員履修の普通科目の単位数は48単位をピークに45~50単位が多い。また、56単位以上の学校も8.1%である。

**B : 全員履修科目単位数(専門科目)**

表 I-1-1-(3)-① B : 卒業までの履修単位数(全員履修科目単位数・専門科目:3年総計)

	~24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43~	合計
北海道	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	4	4	1	3	0	0	0	0	19
東北	6	1	1	0	4	2	4	5	3	4	3	12	8	6	8	4	1	1	1	2	76
関東	9	4	3	4	3	3	5	4	10	11	5	13	14	6	4	4	5	4	2	1	114
北信越	7	1	0	1	0	1	3	2	8	5	7	4	2	2	0	0	2	1	0	1	47
東海	8	2	1	1	3	1	1	3	5	4	1	2	3	6	4	4	4	2	6	5	65
近畿	13	4	0	0	2	4	4	1	7	4	5	6	5	5	2	0	0	4	1	4	71
中国	7	0	0	0	2	2	4	5	3	2	6	2	6	1	8	3	3	1	3	1	59
四国	1	2	2	1	1	0	1	0	0	3	2	3	3	1	2	2	2	0	0	0	26
九州	8	2	0	1	2	2	8	3	5	8	6	8	13	2	8	10	2	6	2	7	103
合計	62	16	7	9	17	15	30	23	40	42	38	51	57	30	39	30	19	19	15	21	580
本年度の割合	10.7	2.8	1.2	1.6	2.9	2.6	5.2	4.0	6.9	7.2	6.6	8.8	9.8	5.2	6.7	5.2	3.3	3.3	2.6	3.6	100
昨年度の割合	12.1	2.3	1.2	1.9	3.7	2.3	5.6	4.0	6.1	8.1	6.3	7.0	11.0	5.8	6.5	4.9	3.7	2.6	1.6	3.3	100
一昨年の割合	10.9	2.8	1.4	2.1	2.5	2.8	6.5	4.0	6.2	6.9	7.9	7.4	10.0	5.3	6.3	5.4	3.7	2.6	1.4	3.9	100

図 I-1-1-(3)-① B : 卒業までの履修単位数(全員履修科目単位数・専門科目:3年総計)

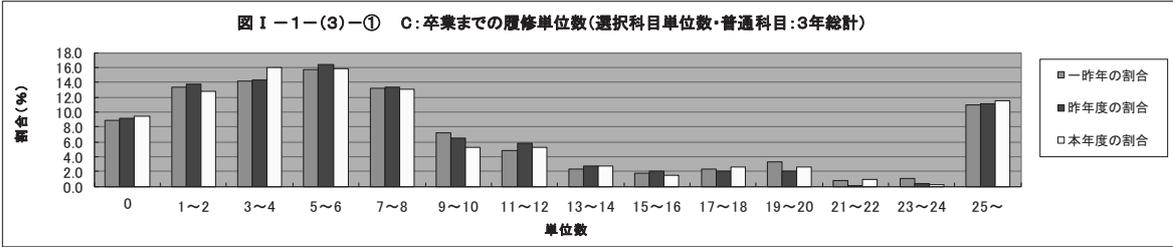


36単位の学校が9.8%である。

### C：選択科目の単位数（最大）【普通科目】

表 I-1-1-(3)-① C：卒業までの履修単位数（選択科目単位数・普通科目：3年総計）

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	4	6	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	16
東北	5	20	10	18	5	1	1	1	4	0	0	0	0	7	72
関東	8	11	27	22	6	8	9	1	0	3	12	0	0	8	115
北信越	2	3	0	4	14	1	3	1	1	0	2	1	0	7	39
東海	5	3	8	10	8	2	3	3	1	4	0	3	0	8	58
近畿	7	2	7	13	10	6	3	3	2	2	0	1	0	11	67
中国	7	7	11	6	7	3	4	1	0	1	0	0	0	5	52
四国	0	3	5	2	4	2	1	3	0	2	0	0	0	4	26
九州	12	13	14	9	15	5	3	2	0	2	0	0	1	9	85
合計	50	68	85	84	69	28	28	15	8	14	14	5	1	61	530
本年度の割合	9.4	12.8	16.0	15.8	13.0	5.3	5.3	2.8	1.5	2.6	2.6	0.9	0.2	11.5	100
前年度の割合	9.2	13.7	14.3	16.4	13.3	6.6	5.8	2.8	2.1	2.1	2.1	0.2	0.4	11.1	100
一昨年の割合	8.9	13.4	14.1	15.7	13.2	7.2	4.8	2.3	1.7	2.3	3.3	0.8	1.2	11.0	100

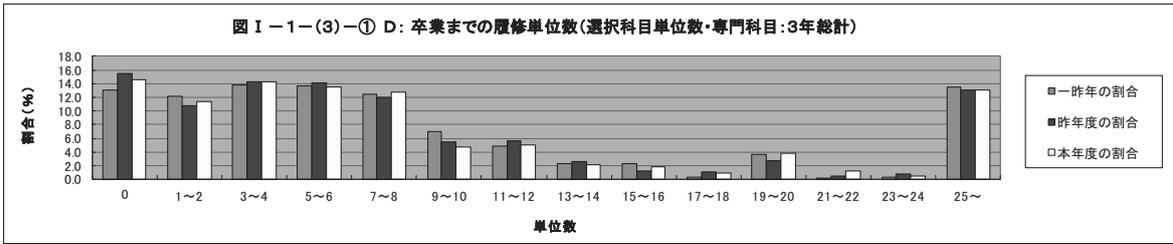


1~8単位設定している学校が多く、選択の幅を広げるとい観点から25単位以上設けている学校も11.5%ある。一方、選択科目を設けていない学校も9.4%ある。

### D：選択科目の単位数（最大）【専門科目】

表 I-1-1-(3)-① D：卒業までの履修単位数（選択科目単位数・専門科目：3年総計）

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	4	6	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	17
東北	16	17	9	11	4	1	2	1	2	0	0	0	1	7	71
関東	11	16	23	18	8	8	6	1	1	1	17	1	1	9	121
北信越	3	2	0	7	14	1	1	0	1	1	1	1	0	7	39
東海	6	3	6	11	7	2	7	3	1	2	0	2	0	8	58
近畿	9	5	9	9	10	4	3	4	4	0	0	0	0	13	70
中国	10	3	8	5	7	3	3	0	0	1	2	1	0	9	52
四国	1	2	6	3	5	1	3	0	0	0	1	1	0	3	26
九州	19	8	14	9	14	6	1	2	1	0	0	1	0	13	88
合計	79	62	77	73	69	26	27	12	10	5	21	7	3	71	542
本年度の割合	14.6	11.4	14.2	13.5	12.7	4.8	5.0	2.2	1.8	0.9	3.9	1.3	0.6	13.1	100
前年度の割合	15.4	10.7	14.3	14.1	12.1	5.5	5.6	2.6	1.3	1.1	2.8	0.6	0.8	13.0	100
一昨年の割合	13.1	12.1	13.9	13.7	12.5	7.0	4.9	2.3	2.3	0.4	3.7	0.2	0.4	13.5	100

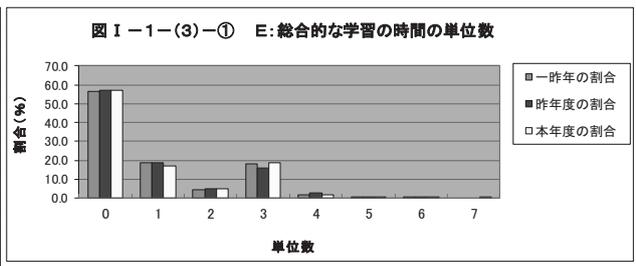


1~8単位の設定が多く、選択の幅を広げるとい観点から25単位以上設けている学校も13.1%ある。一方、選択科目を設けていない学校も14.6%ある。

### E：総合的な学習の時間の単位数（代替は含まない）

表 I-1-1-(3)-① E：総合的な学習の時間の単位数

	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
北海道	8	4	0	4	0	0	0	0	16
東北	34	13	7	9	3	1	1	0	68
関東	56	23	6	16	1	0	1	0	103
北信越	29	5	1	8	0	0	0	0	43
東海	39	2	3	13	1	0	0	0	58
近畿	34	6	5	17	0	0	0	1	63
中国	14	25	1	15	2	0	0	0	57
四国	19	3	0	3	0	0	0	0	25
九州	61	8	2	12	1	0	0	0	84
合計	294	89	25	97	8	1	2	1	517
本年度の割合	56.9	17.2	4.8	18.8	1.5	0.2	0.4	0.2	100
前年度の割合	57.3	18.7	4.9	15.9	2.5	0.6	0.2	0.0	100
一昨年の割合	56.6	18.6	4.1	18.0	1.8	0.4	0.6	0.0	100

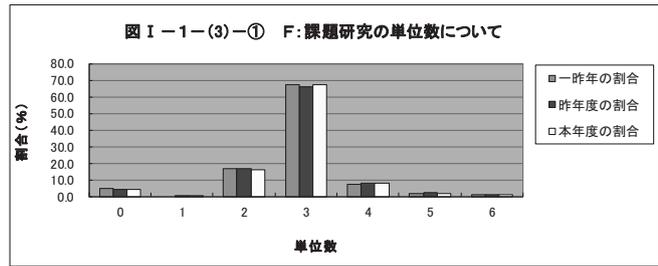


「課題研究」による全部または一部の代替により「総合的な学習の時間」を実施しない学校が56.9%ある。

## F：課題研究の単位数（代替を含む）

表 I-1-1-(3)-① F：課題研究の単位数について

	0	1	2	3	4	5	6	合計
北海道	0	1	2	13	2	0	0	18
東北	3	1	16	52	2	0	1	75
関東	3	1	20	73	12	2	2	113
北信越	5	0	3	35	3	0	1	47
東海	4	0	9	46	4	0	1	64
近畿	4	0	8	46	8	1	2	69
中国	3	0	17	33	4	2	0	59
四国	1	0	2	14	4	3	1	25
九州	2	0	14	71	8	3	1	99
合計	25	3	91	383	47	11	9	569
本年度の割合	4.4	0.5	16.0	67.3	8.3	1.9	1.6	100
昨年度の割合	4.7	0.2	17.0	65.9	8.4	2.5	1.3	100
一昨年度の割合	4.9	0.0	16.9	67.4	7.4	2.2	1.3	100

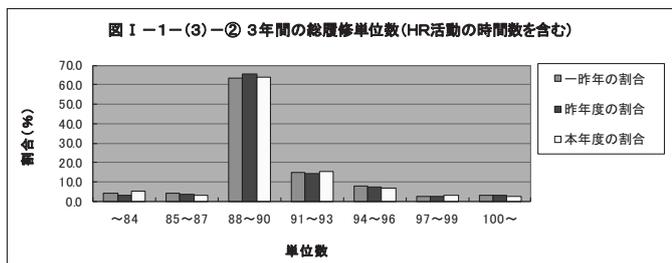


3単位の学校が67.3%と大半を占めている。

## ② 3年間または4年間の履修総単位数について（HR活動の時間を含む）

表 I-1-1-(3)-② 3年間の総履修単位数（HR活動の時間数を含む）

	~84	85~87	88~90	91~93	94~96	97~99	100~	合計
北海道	0	0	15	3	0	1	0	19
東北	2	5	52	12	2	2	2	77
関東	8	7	72	10	9	2	6	114
北信越	0	0	23	14	5	4	1	47
東海	4	2	41	9	8	1	1	66
近畿	9	3	40	8	6	3	3	72
中国	4	1	37	8	6	2	1	59
四国	0	0	17	8	1	0	0	26
九州	2	1	75	17	3	3	2	103
合計	29	19	372	89	40	18	16	583
本年度の割合	5.0	3.3	63.8	15.3	6.9	3.1	2.7	100
昨年度の割合	3.3	3.8	65.8	14.5	7.1	2.4	3.1	100
一昨年度の割合	4.3	4.2	63.5	14.8	8.0	2.3	3.0	100



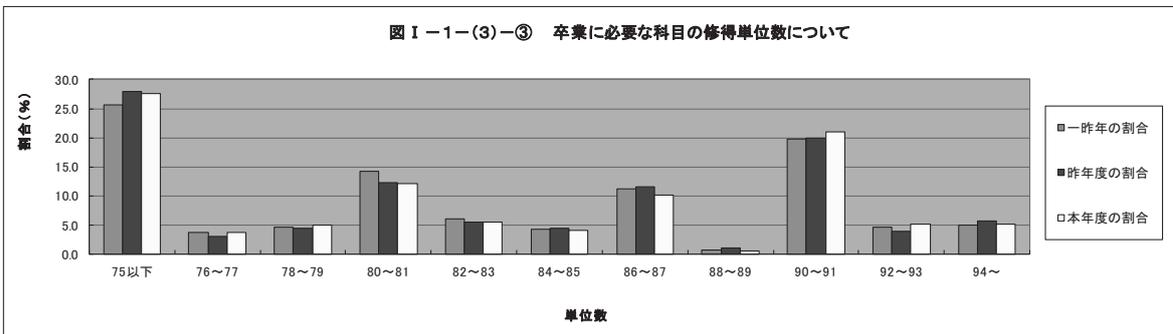
3年間または4年間の履修総単位数は88~90単位が圧倒的に多い。

また、91単位以上設定している学校も28.0%（163校）である。

## ③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

表 I-1-1-(3)-③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

	75以下	76~77	78~79	80~81	82~83	84~85	86~87	88~89	90~91	92~93	94~	合計
北海道	2	0	0	1	0	0	1	0	14	1	0	19
東北	33	2	3	5	6	0	7	0	18	1	2	77
関東	26	3	11	13	10	10	11	2	20	1	7	114
北信越	8	3	1	1	5	0	4	0	9	9	7	47
東海	22	5	2	17	3	2	5	0	5	2	2	65
近畿	23	6	3	6	2	4	10	0	10	4	3	71
中国	17	2	2	7	3	1	9	1	12	2	3	59
四国	10	0	3	2	1	6	0	0	2	1	1	26
九州	19	1	4	18	2	1	12	0	32	9	5	103
合計	160	22	29	70	32	24	59	3	122	30	30	581
本年度の割合	27.5	3.8	5.0	12.0	5.5	4.1	10.2	0.5	21.0	5.2	5.2	100
昨年度の割合	28.0	3.1	4.5	12.3	5.5	4.5	11.6	1.0	19.9	4.0	5.7	100
一昨年度の割合	25.6	3.7	4.7	14.2	6.1	4.2	11.2	0.7	19.8	4.7	5.1	100



75単位以下の学校が27.5%で最も多い。続いて「90~91単位」が21.0%、「80~81単位」が12.0%の順となっている。

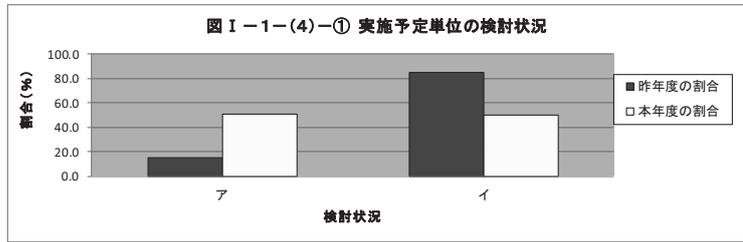
(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について

① 実施予定単位の検討状況について

実施予定単位の検討状況を教えてください。  
ア 決定済      イ 検討中

表 I-1-(4)-① 実施予定単位の検討状況

	ア	イ	合計
北海道	11	7	18
東北	35	38	73
関東	63	39	102
北信越	25	19	44
東海	34	29	63
近畿	29	36	65
中国	20	32	52
四国	11	14	25
九州	42	51	93
合計	270	265	535
本年度の割合	50.5	49.5	100
昨年度の割合	15.4	84.6	100
一昨年の割合			



50.5%の学校が実施予定単位を決定済である。

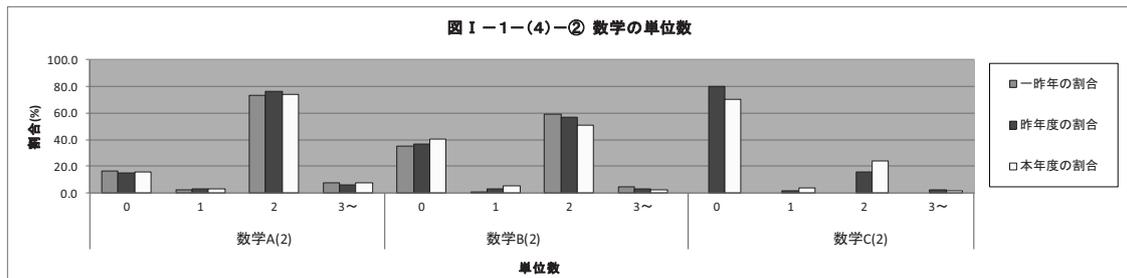
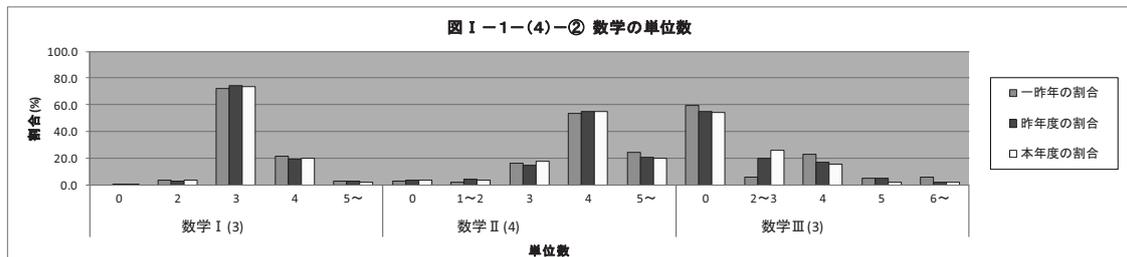
② 数学の予定または決定の単位数をお答えください。

数学 I	数学 II	数学 III	数学 A	数学 B	数学 C
(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

表 I-1-(4)-② 数学の単位数 (各科目のかつこ内は標準単位数を示す)

	数学 I (3)					数学 II (4)					数学 III (3)					
	0	2	3	4	5~	0	1~2	3	4	5~	0	2~3	4	5	6~	
北海道	0	0	11	8	0	0	0	3	11	4	7	0	1	0	1	
東北	1	4	46	19	1	4	2	8	41	16	30	4	4	0	0	
関東	0	4	73	20	3	0	3	25	50	17	25	20	14	2	2	
北信越	0	2	34	7	0	0	0	6	31	7	16	6	11	1	0	
東海	0	6	49	10	1	4	2	12	36	7	16	19	1	0	0	
近畿	0	1	55	9	1	4	6	10	33	8	21	11	11	2	0	
中国	0	1	42	12	1	1	4	7	28	14	17	7	5	0	1	
四国	0	1	20	5	0	1	1	5	16	2	8	8	0	0	1	
九州	0	2	73	18	5	4	1	14	38	29	35	10	4	1	1	
合計	1	21	403	108	12	18	19	90	284	104	175	85	51	6	6	
本年度の割合	0.2	3.9	73.9	19.8	2.2	3.5	3.7	17.5	55.1	20.2	54.2	26.3	15.8	1.9	1.9	
昨年度の割合	0.4	3.0	74.2	19.4	3.0	3.8	4.6	15.2	55.3	21.1	54.9	20.3	17.3	5.1	2.4	
一昨年の割合	0.0	3.7	71.8	21.5	3.0	3.2	2.4	16.4	53.7	24.3	59.8	5.9	23.0	5.3	5.9	

	数学 A (2)				数学 B (2)				数学 C (2)			
	0	1	2	3~	0	1	2	3~	0	1	2	3~
北海道	5	0	10	1	5	0	5	1	8	0	1	0
東北	7	0	49	5	23	0	21	1	31	0	6	1
関東	13	3	67	5	26	4	41	3	35	1	25	3
北信越	2	4	35	1	8	1	28	0	19	1	10	0
東海	10	2	34	1	16	4	21	0	22	3	10	0
近畿	9	3	36	5	20	2	28	1	30	1	9	0
中国	8	1	27	4	11	6	13	1	19	6	3	0
四国	0	0	23	1	7	1	9	0	11	0	4	0
九州	16	1	51	11	31	2	19	2	42	0	7	1
合計	70	14	332	34	147	20	185	9	217	12	75	5
本年度の割合	15.6	3.1	73.8	7.6	40.7	5.5	51.2	2.5	70.2	3.9	24.3	1.6
昨年度の割合	15.3	2.8	76.1	5.8	36.6	2.9	57.2	3.2	80.2	1.5	15.8	2.6
一昨年の割合	16.8	2.5	73.4	7.4	35.3	1.0	58.8	4.9				



「数学 I」「数学 II」「数学 A」は標準単位数を履修する学校が多く、「数学 III」の履修は 2 ~ 3 単位で増加、「数学 C」も 1・2 単位履修する学校が増加している。

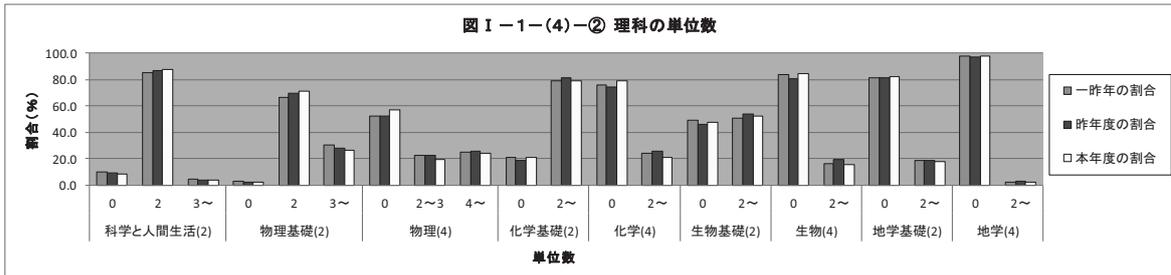
③ 理科の予定または決定の単位数をお答えください。

科学と人間生活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
(A)単位	(B)単位	(C)単位	(D)単位	(E)単位	(F)単位	(G)単位	(H)単位	(I)単位

表 I-1-(4)-② 理科の単位数（各科目のかつこ内は標準単位数を示す）

	科学と人間生活(2)			物理基礎(2)			物理(4)			化学基礎(2)			化学(4)			生物基礎(2)			生物(4)			地学基礎(2)			地学(4)		
	0	2	3~	0	2	3~	0	2~3	4~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~		
北海道	3	11	0	0	14	5	7	1	2	0	15	7	1	4	8	7	1	7	1	7	1	0	8	0			
東北	11	51	2	5	49	18	28	5	6	12	46	33	4	18	30	34	2	33	4	35	0	0	0	0			
関東	9	83	7	2	71	37	25	12	26	11	86	34	18	28	40	37	12	40	18	46	0	0	0	0			
北信越	2	38	2	0	29	16	17	12	7	5	36	19	11	14	17	22	7	23	6	24	3	0	0	0			
東海	5	50	2	1	48	10	16	11	13	8	38	25	8	22	20	26	7	24	7	27	1	0	0	0			
近畿	9	50	2	3	51	10	26	9	10	10	41	30	6	18	32	29	7	28	8	33	1	0	0	0			
中国	3	50	0	2	38	12	20	1	5	9	31	21	3	17	15	21	3	24	2	24	0	0	0	0			
四国	0	25	1	1	15	8	9	5	2	6	15	12	4	10	5	13	1	12	3	14	0	0	0	0			
九州	3	91	2	0	65	24	37	7	7	30	34	40	5	38	16	42	2	43	3	43	1	0	0	0			
合計	45	449	18	14	380	140	185	63	78	91	342	221	60	169	183	231	42	234	52	254	6	0	0	0			
本年度の割合	8.8	87.7	3.5	2.6	71.2	26.2	56.7	19.3	23.9	21.0	79.0	78.6	21.4	48.0	52.0	84.6	15.4	81.8	18.2	97.7	2.3	0	0	0			
昨年度の割合	9.2	86.8	4.1	2.5	69.8	27.8	52.1	22.3	25.7	18.5	81.5	74.5	25.5	46.0	54.0	80.3	19.7	81.2	18.8	96.6	3.4	0	0	0			
一昨年の割合	10.0	85.3	4.7	2.9	66.4	30.7	52.4	22.9	24.6	21.4	78.6	75.9	24.1	49.5	50.5	83.3	16.7	81.2	18.8	97.5	2.5	0	0	0			

図 I-1-(4)-② 理科の単位数



「科学と人間生活」を2単位履修する学校が最も多く、続いて「化学基礎」を2単位履修する学校の順となっている。

(5) 進学希望者の指導について

① 教育課程上の対応について

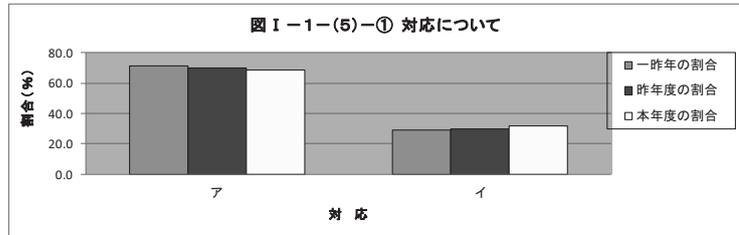
進学希望者の指導について教育課程上の対応をしていますか。

ア はい イ いいえ

表 I-1-(5)-① 対応について

	ア	イ	合計
北海道	11	8	19
東北	45	32	77
関東	81	34	115
北信越	38	8	46
東海	46	21	67
近畿	57	16	73
中国	37	22	59
四国	23	3	26
九州	61	42	103
合計	399	186	585
本年度の割合	68.2	31.8	100
昨年度の割合	70.1	29.9	100
一昨年の割合	71.2	28.8	100

図 I-1-(5)-① 対応について



68.2%の学校が教育課程上の対応をしているが、その割合は減少傾向にある。

② ①でアと回答した学校について

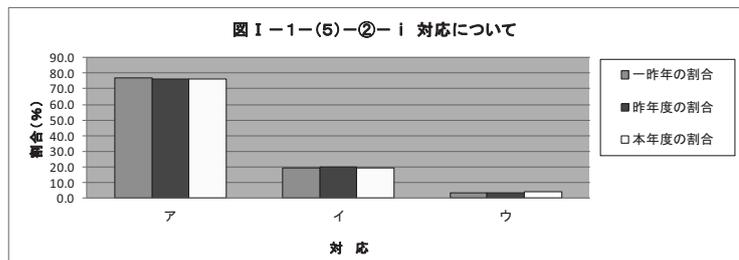
i どのような対応をしていますか。（複数回答可）

ア 選択教科 イ コース又は類型で指導 ウ その他

表 I-1-(5)-②-i 対応について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	10	0	2	12
東北	39	6	2	47
関東	70	13	7	90
北信越	35	8	0	43
東海	36	12	2	50
近畿	45	19	2	66
中国	30	8	2	40
四国	18	9	0	27
九州	53	10	3	66
合計	336	85	20	441
本年度の割合	76.2	19.3	4.5	100
昨年度の割合	76.4	20.0	3.6	100
一昨年の割合	77.0	19.5	3.5	100

図 I-1-(5)-②-i 対応について



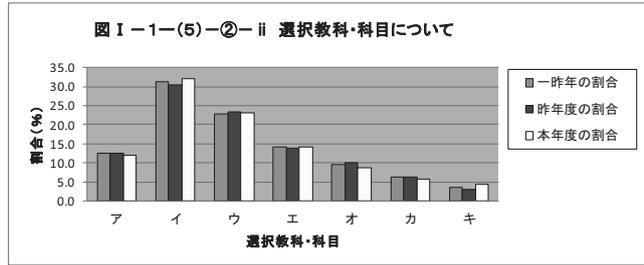
「選択教科」で対応している学校が76.2%で最も多い。

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表I-1-(5)-②-ii 選択教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	1	8	4	2	3	3	2	23
東北	9	40	25	18	9	8	6	115
関東	25	68	41	36	27	19	9	225
北信越	17	36	28	13	8	5	6	113
東海	8	36	30	18	10	4	2	108
近畿	22	46	32	26	11	6	10	153
中国	13	29	26	11	8	7	3	97
四国	9	16	16	5	3	3	4	56
九州	20	51	36	16	10	5	4	142
合計	124	330	238	145	89	60	46	1032
本年度の割合	12.0	32.0	23.1	14.1	8.6	5.8	4.5	100
昨年度の割合	12.7	30.4	23.3	13.9	10.2	6.4	3.1	100
一昨年の割合	12.5	31.2	23.0	14.2	9.5	6.2	3.5	100



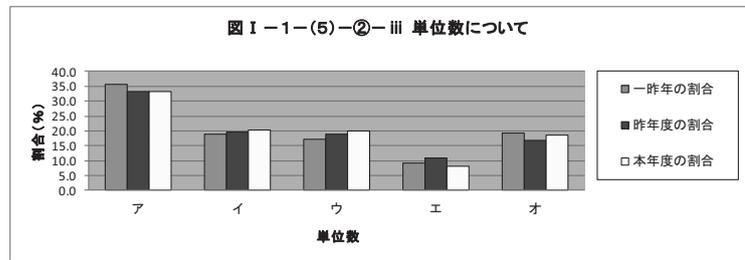
「数学」が最も多く、続いて「英語」「物理」「国語」の順となっている。

iii iでアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数

ア 4単位以下      イ 6単位以下      ウ 8単位以下      エ 10単位以下  
オ 11単位以上

表I-1-(5)-②-iii 単位数について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	8	1	0	0	1	10
東北	15	11	8	2	5	41
関東	28	15	6	7	13	69
北信越	9	5	17	0	4	35
東海	12	6	5	5	11	39
近畿	6	16	8	3	12	45
中国	10	4	6	3	6	29
四国	5	1	4	2	6	18
九州	19	10	13	5	5	52
合計	112	69	67	27	63	338
本年度の割合	33.1	20.4	19.8	8.0	18.6	100
昨年度の割合	33.3	19.8	18.9	11.0	16.9	100
一昨年の割合	35.5	19.0	17.0	9.2	19.3	100



「4単位以下」が33.1%で最も多く、「11単位以上」設定している学校も18.6%である。

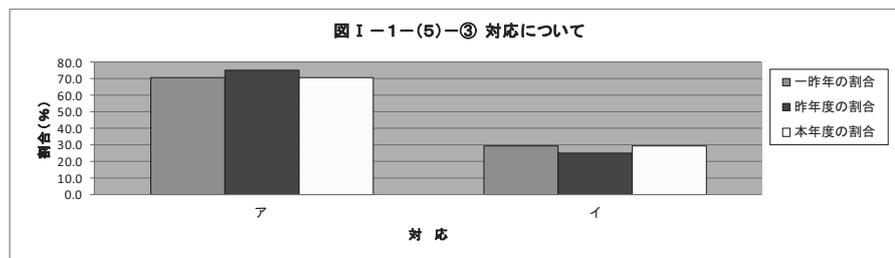
### ③ 教育課程以外の対応について

教育課程以外で何か対応していますか。

ア はい      イ いいえ

表I-1-(5)-③対応について

	ア	イ	合計
北海道	13	6	19
東北	59	17	76
関東	68	46	114
北信越	40	7	47
東海	37	29	66
近畿	54	19	73
中国	38	21	59
四国	20	6	26
九州	83	20	103
合計	412	171	583
本年度の割合	70.7	29.3	100
昨年度の割合	75.0	25.0	100
一昨年の割合	70.6	29.4	100



教育課程以外で対応している学校が70.7%である。

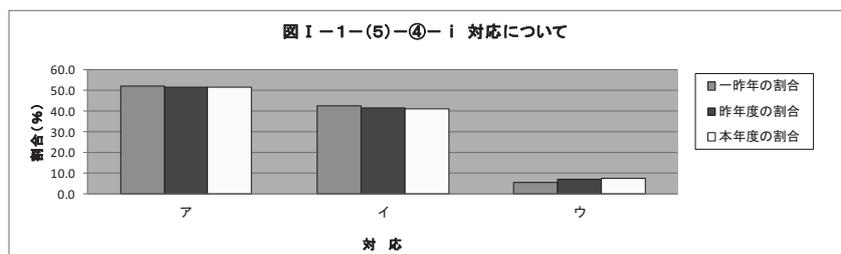
### ④ ③でアと回答した学校について

i どの時期に対応をしていますか。（複数回答可）

ア 早朝もしくは放課後の課外授業で対応      イ 長期休業中      ウ その他

表I-1-(5)-④-i 対応について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	10	9	0	19
東北	42	45	5	92
関東	45	43	8	96
北信越	31	23	5	59
東海	25	21	6	52
近畿	40	33	6	79
中国	28	16	6	50
四国	18	12	0	30
九州	72	45	8	125
合計	311	247	44	602
本年度の割合	51.7	41.0	7.3	100
昨年度の割合	51.6	41.4	7.1	100
一昨年の割合	52.0	42.6	5.4	100



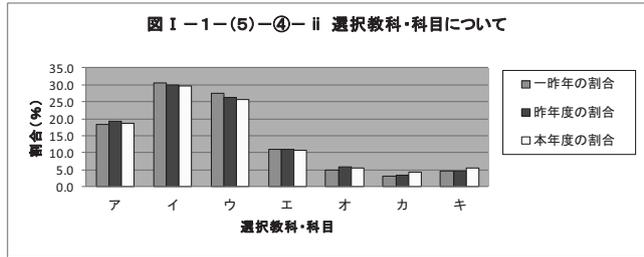
「早朝もしくは放課後の課外授業で対応」している学校が51.7%であるが、複数回答している学校も多い。

ii i でアと回答した場合の選択教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(5)-④-ii 選択教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	7	11	9	3	2	2	4	38
東北	34	50	49	17	8	7	5	170
関東	31	53	42	19	11	12	9	177
北信越	16	33	30	18	9	3	8	117
東海	15	30	26	12	7	3	4	97
近畿	27	40	35	11	8	5	11	137
中国	23	33	29	12	6	4	7	114
四国	16	19	17	8	6	4	3	73
九州	42	69	54	22	6	7	13	213
合計	211	338	291	122	63	47	64	1136
本年度の割合	18.6	29.8	25.6	10.7	5.5	4.1	5.6	100
昨年度の割合	19.3	29.9	26.2	11.0	5.8	3.3	4.6	100
一昨年の割合	18.5	30.7	27.5	10.9	4.9	3.0	4.5	100



対応している教科・科目は「数学」が最も多く、続いて「英語」「国語」の順となっている。

(6) 大学入試・外部検定試験について

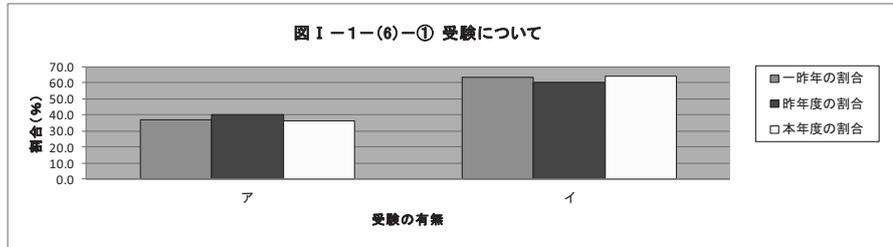
① 大学入試について

大学入試センター試験を受験していますか。

ア はい      イ いいえ

表 I-1-(6)-① 受験について

	ア	イ	合計
北海道	5	14	19
東北	29	47	76
関東	52	61	113
北信越	21	25	46
東海	29	36	65
近畿	27	46	73
中国	13	46	59
四国	13	13	26
九州	21	81	102
合計	210	369	579
本年度の割合	36.3	63.7	100
昨年度の割合	39.9	60.1	100
一昨年の割合	37.0	63.0	100



センター試験を受験している学校は36.3%であり昨年より減少している。

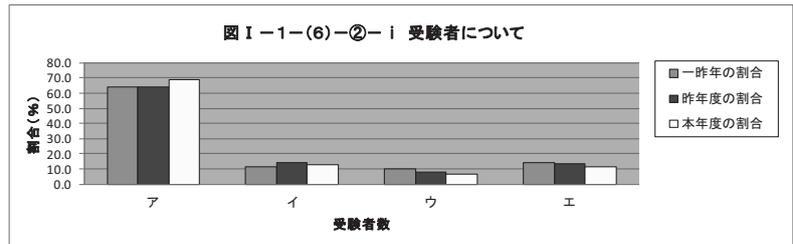
② ①でアと回答した学校について

i 昨年度の受験者は何名ですか。(過年度卒も含む)

ア 5名以内      イ 6名から10名      ウ 11名以上      エ 21名以上

表 I-1-(6)-②-i 受験者について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	2	1	0	0	3
東北	20	6	1	2	29
関東	36	6	4	9	55
北信越	16	2	2	3	23
東海	23	1	2	3	29
近畿	20	2	3	3	28
中国	10	1	1	0	12
四国	10	1	1	2	14
九州	13	8	1	2	24
合計	150	28	15	24	217
本年度の割合	69.1	12.9	6.9	11.1	100
昨年度の割合	64.2	14.4	7.9	13.5	100
一昨年の割合	64.2	11.6	9.8	14.4	100



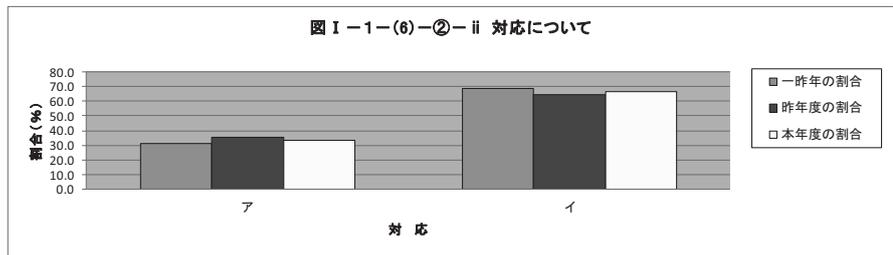
「5名以内」の学校の割合が増加し、受験者数は減少傾向にある。

ii どのような対応をしていますか。

ア 教育課程上で対応      イ 教育課程以外で対応

表 I-1-(6)-②-ii 対応について

	ア	イ	合計
北海道	2	3	5
東北	10	18	28
関東	16	35	51
北信越	6	16	22
東海	6	22	28
近畿	8	18	26
中国	6	7	13
四国	8	5	13
九州	8	14	22
合計	70	138	208
本年度の割合	33.7	66.3	100
昨年度の割合	35.7	64.3	100
一昨年の割合	31.5	68.5	100



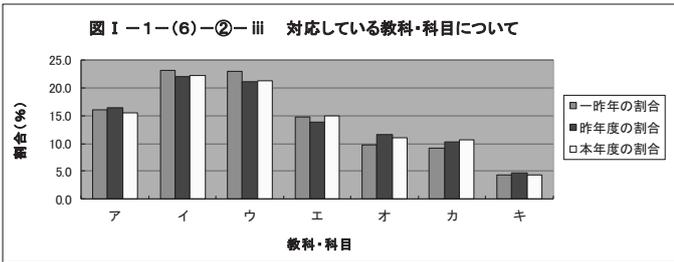
教育課程以外で対応している学校が66.3%である。

iii 対応している場合の教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(6)-②-iii 対応している教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	3	5	5	2	2	3	1	21
東北	20	24	24	19	14	13	6	120
関東	25	39	31	26	18	17	7	163
北信越	13	16	17	12	11	8	1	78
東海	14	18	20	11	6	10	3	82
近畿	8	18	16	8	6	3	5	64
中国	11	13	13	9	8	9	2	65
四国	10	11	12	9	7	7	3	59
九州	11	20	19	14	9	9	4	86
合計	115	164	157	110	81	79	32	738
本年度の割合	15.6	22.2	21.3	14.9	11.0	10.7	4.3	100
昨年度の割合	16.5	22.0	21.1	13.9	11.5	10.4	4.7	100
一昨年度の割合	16.0	23.1	23.0	14.8	9.7	9.3	4.3	100



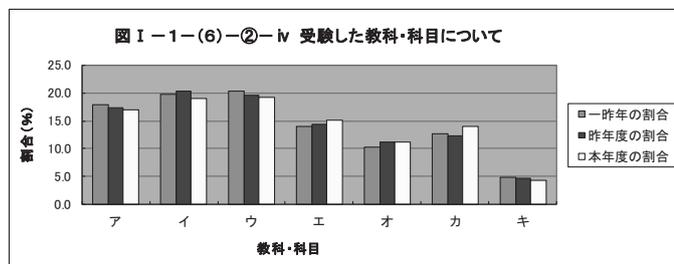
「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順となっている。

iv 実際に受験した教科・科目名（複数回答可）

ア 国語      イ 数学      ウ 英語      エ 物理      オ 化学  
カ 地歴・公民      キ その他

表 I-1-(6)-②-iv 受験した教科・科目について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	4	5	5	4	3	4	1	26
東北	24	22	24	23	17	19	8	137
関東	33	43	39	32	23	26	9	205
北信越	20	19	20	14	14	18	3	108
東海	19	21	23	15	10	16	6	110
近畿	17	22	21	16	8	14	3	101
中国	11	13	13	9	8	10	4	68
四国	12	12	13	10	6	10	2	65
九州	19	21	21	18	16	14	5	114
合計	159	178	179	141	105	131	41	934
本年度の割合	17.0	19.1	19.2	15.1	11.2	14.0	4.4	100
昨年度の割合	17.4	20.3	19.6	14.4	11.3	12.4	4.6	100
一昨年度の割合	17.9	19.8	20.3	14.1	10.3	12.7	4.9	100



「英語」「数学」が多く、続いて「国語」「物理」の順となっている。

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

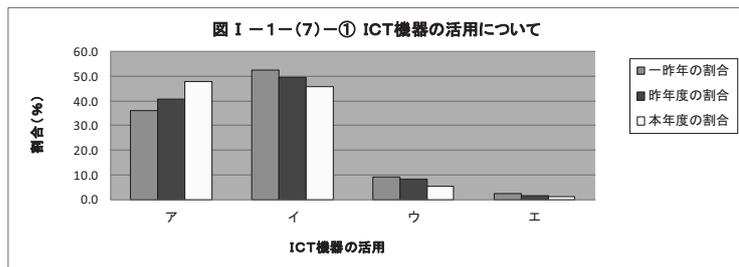
① ICT機器の活用について

工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答えください。

ア よく活用している      イ 少し活用している      ウ あまり活用していない  
エ 全く活用していない

表 I-1-(7)-① ICT機器の活用について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	6	11	2	0	19
東北	31	41	4	1	77
関東	64	47	3	1	115
北信越	22	23	2	0	47
東海	24	38	4	0	66
近畿	36	32	4	1	73
中国	34	19	5	1	59
四国	15	11	0	0	26
九州	47	46	7	3	103
合計	279	268	31	7	585
本年度の割合	47.7	45.8	5.3	1.2	100
昨年度の割合	40.6	49.6	8.3	1.6	100
一昨年度の割合	36.1	52.4	9.1	2.4	100



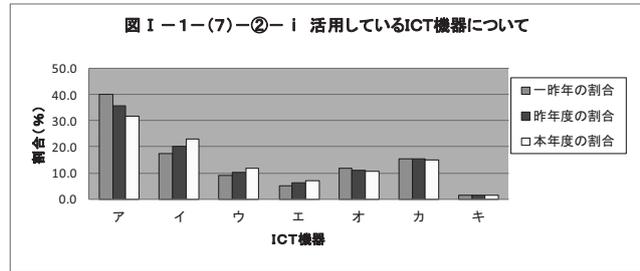
「よく活用」が増加し、座学におけるICT機器の活用は進んでいる。

② ①でア、イと回答した学校について

i 活用しているICT機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可)  
 ア プロジェクタ      イ タブレット      ウ 電子黒板      エ スマートフォン  
 オ デジタルカメラ (ビデオ)      カ 書画カメラ (実物投影機)      キ その他

表 I-1-(7)-②-i 活用しているICT機器について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	17	9	2	6	10	3	0	47
東北	69	44	23	23	28	33	3	223
関東	106	66	32	32	44	58	7	345
北信越	43	33	23	5	10	24	2	140
東海	62	51	18	11	13	28	2	185
近畿	65	39	16	13	20	24	4	181
中国	53	52	19	7	13	27	3	174
四国	24	25	12	5	15	12	3	96
九州	85	57	49	13	20	36	1	261
合計	524	376	194	115	173	245	25	1652
本年度の割合	31.7	22.8	11.7	7.0	10.5	14.8	1.5	100
昨年度の割合	35.8	20.1	10.1	6.3	10.9	15.5	1.3	100
一昨年の割合	40.0	17.3	8.9	5.0	11.7	15.6	1.6	100

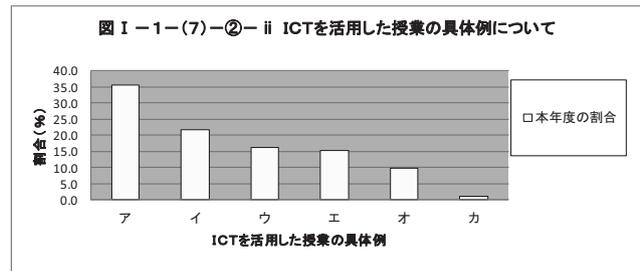


タブレット・電子黒板の活用が増加しており、GIGAスクール構想の下でのICT環境整備の影響が表れている。

ii ICTを活用した授業の具体例についてお答えください。(複数回答可)  
 ア プロジェクタ、書画カメラによる教材提示  
 イ タブレット、スマートフォンを活用しての資料検索や調べ学習  
 ウ タブレットを活用したプレゼンテーションや意見発表  
 エ デジタルカメラ、ビデオを活用した動画提示  
 オ タブレット、スマートフォンを活用した個別学習      カ その他

表 I-1-(7)-②-ii ICTを活用した授業の具体例について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	16	11	4	7	2	0	40
東北	67	44	26	39	19	1	196
関東	104	61	45	50	32	4	296
北信越	43	22	18	21	6	2	112
東海	60	37	33	17	18	2	167
近畿	61	36	24	23	18	3	165
中国	51	39	28	22	20	2	162
四国	26	17	16	14	11	1	85
九州	87	48	40	30	18	3	226
合計	515	315	234	223	144	18	1449
本年度の割合	35.5	21.7	16.1	15.4	9.9	1.2	100
昨年度の割合							
一昨年の割合							



その他

- ・出席停止となった生徒へのオンライン授業
- ・外部講師による遠隔授業等
- ・課題研究のリモート発表会
- ・パソコンを利用した資料検索やプレゼン
- ・パソコン、スマホを活用した演算問題学習
- ・タブレットを活用した静止画・動画編集

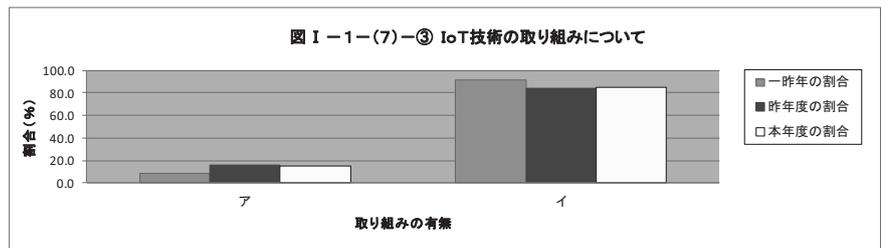
教材提示・調べ学習・プレゼンテーションの順に活用されており、個別学習への活用も9.9%の学校で行われている。

③ IoT技術について

IoT技術についての取り組みはありますか。  
 ア はい      イ いいえ

表 I-1-(7)-③ IoT技術の取り組みについて

	ア	イ	合計
北海道	1	18	19
東北	14	62	76
関東	22	93	115
北信越	11	35	46
東海	9	57	66
近畿	9	63	72
中国	9	49	58
四国	6	20	26
九州	5	98	103
合計	86	495	581
本年度の割合	14.8	85.2	100
昨年度の割合	16.1	83.9	100
一昨年の割合	9.0	91.0	100



取り組んでいる学校は14.8%である。

④ ③でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

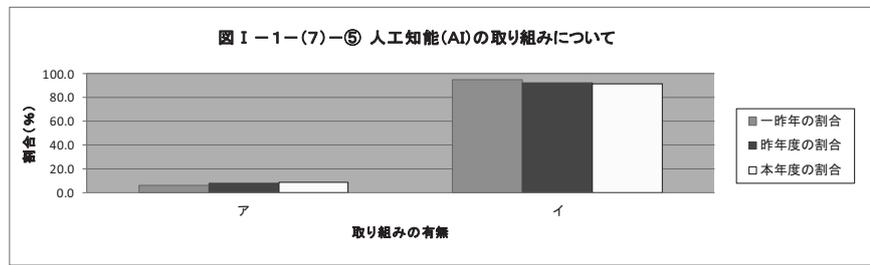
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Raspberry Piを用いたビニールハウスの環境制御</li> <li>・Raspberry PiやArduinoを使ったものづくり</li> <li>・micro:bitを用いた制御やBluetooth通信</li> <li>・M5Stackを使用したIoT実習</li> <li>・BluetoothやWiFiを用いたマイコンカー制御</li> <li>・スマートハウス (IoTを使用した電気機器コントロール、Webカメラ監視)</li> <li>・センサー観測データの近距離伝送</li> <li>・ライントレースロボットによるプログラミング学習</li> <li>・家電の遠隔操作に関する研究</li> <li>・埼玉県AI、IoTコンソーシアムの活用</li> <li>・スマートフォンを利用した制御実習</li> <li>・スマート農業のための制御機器等の製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Raspberry Piを用いたIoTの研究</li> <li>・AVRを用いたIoT機器の製作</li> <li>・obnizを利用したモーター制御</li> <li>・micro:bitを活用した通信実習</li> <li>・IoT百葉箱の開発と商品化への取組</li> <li>・ドローン測量</li> <li>・ICTを活用した建設機械の運転</li> <li>・IoTによる温度センサーの製作</li> <li>・家電の遠隔操作の研究</li> <li>・農業科とコラボした環境モニター</li> </ul>
--	---

⑤ 人口知能 (A I) について

人工知能 (A I) についての取り組みはありますか。  
ア はい イ いいえ

表 I-1-(7)-⑤ 人工知能 (A I) の取り組みについて

	ア	イ	合計
北海道	1	18	19
東北	10	67	77
関東	9	106	115
北信越	1	45	46
東海	8	57	65
近畿	6	66	72
中国	5	54	59
四国	4	22	26
九州	6	96	102
合計	50	531	581
本年度の割合	8.6	91.4	100
昨年度の割合	7.8	92.2	100
一昨年の割合	5.7	94.3	100



取り組み校がやや増加しているが、検討中の学校が多いと思われる。

⑥ ⑤でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーモグラフィによる非接触型体温計の製作</li> <li>・カメラを搭載した自走AIロボットカーの製作</li> <li>・ドローンのAI制御の研究</li> <li>・スマートスピーカーの製作</li> <li>・音声認識による制御</li> <li>・AIによるCPS (Cyber-Physical System)</li> <li>・4軸アームロボット (DOBOT Magician) を使用しての色判別や画像処理に制御学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度監視システムの製作</li> <li>・Pythonによる機械学習</li> <li>・ニューラルネットワークによる画像認識</li> <li>・JetBotによる自動運転技術の研究</li> <li>・文字認識の取組</li> <li>・Jetson nanoを使用しての画像認識</li> </ul>
---	--

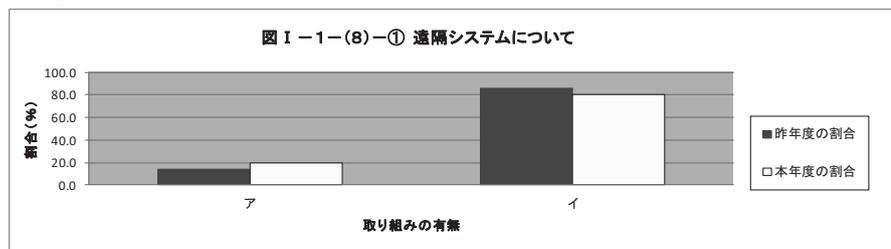
(8) 遠隔システムについて

① 遠隔システムの利用について

遠隔システムを利用した授業を行っていますか。  
ア はい イ いいえ

表 I-1-(8)-① 遠隔システムを利用した授業について

	ア	イ	合計
北海道	2	17	19
東北	10	66	76
関東	29	86	115
北信越	12	35	47
東海	0	48	48
近畿	14	59	73
中国	19	40	59
四国	9	17	26
九州	16	87	103
合計	111	455	566
本年度の割合	19.6	80.4	100
昨年度の割合	14.4	85.6	100
一昨年の割合			



昨年追加した項目であるが、行っている学校が 19.6%と増加している。

## ② ①でアと回答した学校について

具体的な状況をお答えください。(主なものを記載)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ・ 臨時休業中のオンライン学習   | ・ 欠席者へのオンライン学習    |
| ・ 臨時休業中の課題配布及び提出等 | ・ 外部講師によるリモート授業等  |
| ・ 企業のオンライン工場見学    | ・ 教員が自宅からのオンライン授業 |

臨時休業や分散登校等の対応でオンライン学習をしたとの記述が多かった。企業や大学の外部講師によるリモート授業等の活用もみられる。サービス（システム）の具体的な名称で回答されたもので多かったのが「Google Classroom」「ZOOM」「Microsoft Teams」の順となっている。

## 2 教育課程についてのまとめ

### (1) 編成上の基本的な考え方について

毎年の傾向に大きな変化はなく、「専門的な技術・技能教育の定着」が43.3%、次に「基礎的な学力の定着」が40.2%と続いている。

### (2) 取り組む内容について

取り組む内容については、「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」が36.8%で最も多く、続いて「学習習慣の確立」、「職業教育」の順となり、職業教育が増加している。

### (3) 卒業までの履修単位について

卒業までの履修単位については、全員履修の普通科目の単位数は、45～50単位が多い。全員履修の専門科目の単位数は、36単位が最も多く、24単位以下も増加しており、単位数のばらつきが大きい。普通科目の選択単位数は、1～8単位が多い。また、進学対応のため25単位以上も一定数ある。専門科目及び普通科目の選択単位数は同様の傾向である。「課題研究」は3単位の学校が最も多く、「総合的な学習の時間」は多くの学校が一部または全部を「課題研究」で代替していると考えられ、「総合的な学習の時間」の履修は多くない。卒業までの履修総単位数は88～90単位が圧倒的に多い。また、それ以上設定している学校は28.0%である。卒業に必要な修得単位数は、75単位以下の学校が最も多い。次に、90～91単位が多く、傾向は例年通りである。

### (4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について

新学習指導要領を踏まえた予定単位数については、検討中の学校が49.5%、決定済の学校が50.5%で半々である。

### (5) 進学希望者の指導について

進学希望者の指導については、教育課程上で対応している学校が68.2%で、そのほとんどは選択教科で対応している。教科・科目では「数学」が最も多く、次に「英語」である。教育課程以外の対応では、平日の課外授業が51.7%、長期休業中が41.0%であり、対応時期合計は、対応校数の約1.5倍であるので複数の時期で対応していることが伺える。

### (6) 大学入試・外部検定試験について

大学入試センター試験を受験する学校は36.3%で、そのうち受験者数は「5名以内」が69.1%と最も多く、21名以上受験している学校は11.1%である。また、「教育課程上で対応」が33.7%とやや減ったが、多くの学校は教育課程以外で対応している。また、対応している教科・科目は実際の受験科目と同様の傾向であり「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順となっている。

### (7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

使用機器については、プロジェクタが最も多い。タブレット、電子黒板などのデジタル機器の活用がやや増えてきているが、ICT機器の活用は十分とは言えない。また、IoT技術、AI技術についての取り組みも微増しているが、もっと進めていくことが求められる。新学習指導要領の実施に向けて授業の在り方等、研究授業や研修を通して取り組みを図る必要がある。

### (8) 遠隔システムについて

授業での利用については、大半の学校が利用していないが、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業に伴い、Web会議サービスや動画配信サービス等を活用した学校が多数あったことが伺える。サービス（システム）の具体的な名称で回答されたもので多かったのが「Google Classroom」「ZOOM」「Microsoft Teams」の順になっている。

## II 学校改革について

### ○ 調査目的

基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、生徒一人ひとりの個性に応じ、その能力を最大限に伸ばす創意工夫に富んだ教育活動を行うことが重要である。そこで、本年度も学校改革・活性化、職員の意識改革、長期休業期間の活用法などについて調査した。

### 1. 学校改革・活性化について

#### (1) 学校改革・学校活性化について

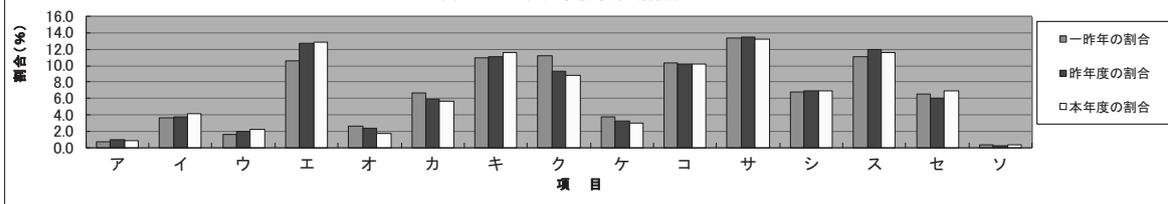
学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア 学校の統合      イ 学科の新設や改編      ウ 入学者選抜の見直し  
 エ 特色ある教育課程の編成      オ 学校評価      カ 職員の意識改革  
 キ ものづくり      ク 挨拶・服装・マナー指導      ケ 進学指導  
 コ 就職指導      サ 資格指導      シ 部活動      ス 地域との連携  
 セ 企業や他の教育機関との連携      ソ その他

表Ⅱ-1-1 (1) 学校改革・活性化について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	合計
北海道	2	2	1	8	1	4	5	3	2	6	5	2	9	5	0	55
東北	5	10	4	29	4	6	28	14	6	22	38	18	35	17	0	236
関東	2	13	11	47	7	18	36	26	11	32	55	16	29	30	1	334
北信越	2	3	2	17	2	6	13	8	6	9	18	5	24	18	0	133
東海	0	22	5	22	4	9	20	20	4	15	14	16	21	14	2	188
近畿	2	10	2	38	2	21	25	20	5	23	27	10	23	13	0	221
中国	0	1	4	22	1	10	19	22	2	18	22	15	23	9	2	170
四国	1	2	1	7	2	3	16	6	4	4	8	7	13	5	0	79
九州	0	8	9	31	6	20	36	31	12	46	40	29	22	7	0	297
合計	14	71	39	221	29	97	198	150	52	175	227	118	199	118	5	1713
本年度の割合	0.8	4.1	2.3	12.9	1.7	5.7	11.6	8.8	3.0	10.2	13.3	6.9	11.6	6.9	0.3	100
昨年度の割合	1.0	3.8	2.0	12.7	2.3	5.8	11.1	9.3	3.2	10.2	13.5	6.9	11.9	6.0	0.2	100
一昨年の割合	0.7	3.6	1.6	10.6	2.6	6.6	10.9	11.2	3.8	10.3	13.3	6.8	11.1	6.5	0.4	100

図Ⅱ-1-1(1) 学校改革・活性化について



「資格指導」が13.3%と最も多いが、増加傾向にあるのは「特色ある教育課程の編成」と「ものづくり」である。また、「挨拶・服装・マナー指導」については減少傾向にある。

#### (2) 職員の意識改革について

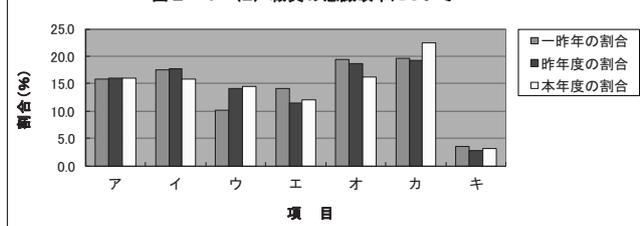
職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア 企業の人を招いての研修会・懇談会  
 イ 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣  
 ウ 職員グループによる学校の課題の研究      エ 教員評価システムの活用  
 オ 保護者、地域への授業公開      カ 管理職による職員への積極的な情報の提示  
 キ その他

表Ⅱ-1-1 (2) 職員の意識改革について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	6	5	4	5	5	13	2	40
東北	32	33	17	19	24	30	7	162
関東	30	26	42	34	38	59	6	235
北信越	16	15	11	13	22	17	3	97
東海	24	21	22	15	22	24	2	130
近畿	23	19	27	15	21	34	3	142
中国	20	13	15	9	21	27	3	108
四国	10	8	3	6	10	10	4	51
九州	25	45	29	24	26	47	6	202
合計	186	185	170	140	189	261	36	1167
本年度の割合	15.9	15.9	14.6	12.0	16.2	22.4	3.1	100
昨年度の割合	15.9	17.7	14.2	11.4	18.7	19.2	2.8	100
一昨年の割合	15.7	17.5	10.1	14.1	19.4	19.5	3.5	100

図Ⅱ-1-1(2) 職員の意識改革について



延べ回答数が回答校の2倍近くあり、どの学校も職員の意識改革に力を入れている。中でも「管理職による職員への積極的な情報の提示」が最も増加している。

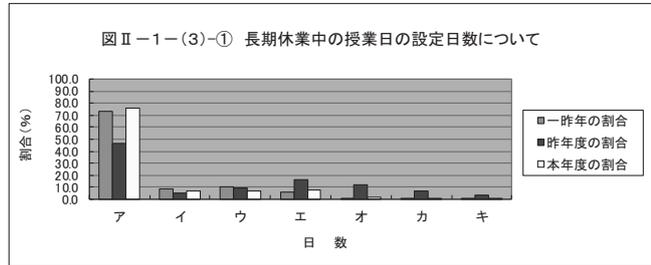
### (3) 長期休業期間について

#### ① 長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について

長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数についてお答えください。  
 ア 設定していない      イ 3日以内      ウ 5日以内      エ 10日以内  
 オ 15日以内      カ 20日以内      キ 20日を超える

表Ⅱ-1-(3)-① 長期休業中の授業日の設定日数について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	16	2	0	0	0	0	0	18
東北	63	6	5	0	0	0	0	74
関東	99	2	3	5	2	0	0	111
北信越	34	5	3	4	0	1	0	47
東海	50	6	1	5	1	1	0	64
近畿	43	5	9	9	3	1	1	71
中国	33	5	10	6	0	0	1	55
四国	21	2	0	2	0	0	0	25
九州	68	5	8	12	5	1	0	99
合計	427	38	39	43	11	4	2	564
本年度の割合	75.7	6.7	6.9	7.6	2.0	0.7	0.4	100
昨年度の割合	46.6	4.8	9.4	16.4	11.9	7.1	3.7	100
一昨年度の割合	73.7	8.6	10.3	5.7	0.6	0.6	0.6	100



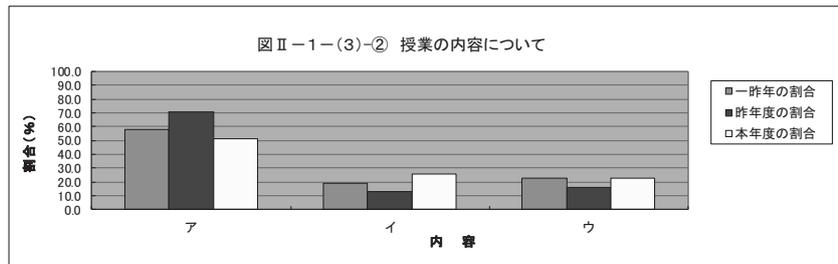
昨年度は臨時休業による影響が大きかったが、本年度は一昨年とほぼ同じ傾向となっている。

#### ② 授業の内容

授業の内容についてお答えください。  
 ア 通常日課の授業      イ 資格取得のための特別授業      ウ その他

表Ⅱ-1-(3)-② 授業の内容について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	2	3	2	7
東北	14	10	14	38
関東	20	21	16	57
北信越	15	4	2	21
東海	19	5	11	35
近畿	28	7	7	42
中国	23	10	5	38
四国	7	2	5	14
九州	29	18	8	55
合計	157	80	70	307
本年度の割合	51.1	26.1	22.8	100
昨年度の割合	71.1	13.1	15.8	100
一昨年度の割合	58.1	19.0	22.9	100



「通常日課の授業」が減少し、「資格取得のための特別授業」が増加している。

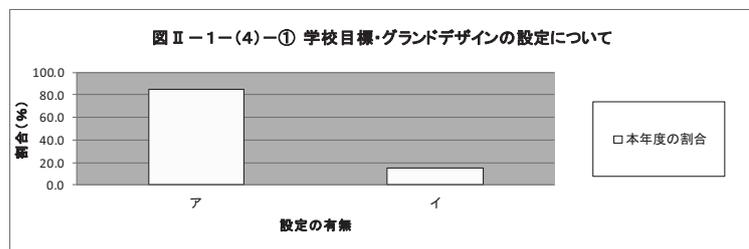
### (4) 学校目標・学校評価・グランドデザインについて

#### ① 学校目標・学校評価・グランドデザインについて

学校目標・グランドデザインを設定していますか。  
 ア はい      イ いいえ

表Ⅱ-1-(4)-① 学校目標・グランドデザインの設定について

	ア	イ	合計
北海道	17	2	19
東北	67	10	77
関東	96	17	113
北信越	43	3	46
東海	0	16	16
近畿	61	11	72
中国	55	4	59
四国	21	5	26
九州	88	14	102
合計	448	82	530
本年度の割合	84.5	15.5	100
昨年度の割合			
一昨年度の割合			



新しく追加した項目であるが、84.5%の学校が設定している。

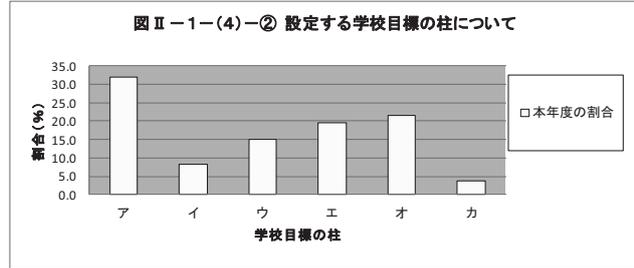
## ② 設定する学校目標の柱について

設定する学校目標の柱は何ですか。(3つ以内)

ア 教科指導 イ 教科外指導 ウ 学校運営 エ 生徒指導 オ 地域連携 カ その他

表Ⅱ-1-(4)-② 設定する学校目標の柱について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	16	3	7	8	11	0	45
東北	57	14	24	43	39	3	180
関東	85	23	29	47	45	14	243
北信越	35	9	15	17	29	4	109
東海	38	10	23	18	25	7	121
近畿	43	13	30	29	26	4	145
中国	41	10	19	25	35	4	134
四国	19	6	3	9	13	2	52
九州	66	17	38	47	45	9	222
合計	400	105	188	243	268	47	1251
本年度の割合	32.0	8.4	15.0	19.4	21.4	3.8	100
昨年度の割合							
一昨年の割合							



その他

- ・キャリア教育、進路指導
- ・ものづくり
- ・未来を担う産業人の育成
- ・働き方改革

「教科指導」が32.0%と最も多く、次いで「地域連携」「生徒指導」の順に多い。

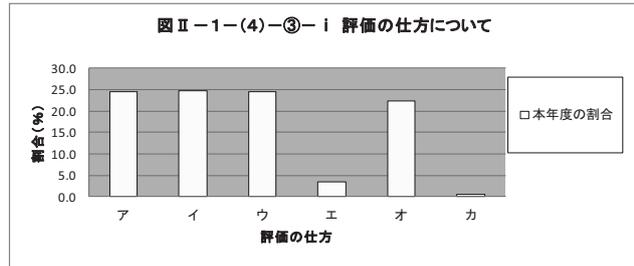
## ③ 学校評価について

i 評価の仕方はどのようにしていますか？(活用しているものすべて)

ア 生徒評価 イ 保護者評価 ウ 学校評議員評価 エ 地域住民による評価  
オ 教職員評価 カ その他

表Ⅱ-1-(4)-③-i 評価の仕方について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	16	18	18	3	17	0	72
東北	67	68	61	4	68	2	270
関東	94	97	84	26	75	4	380
北信越	36	33	37	6	28	0	140
東海	39	41	51	4	38	4	177
近畿	65	67	59	8	57	0	256
中国	49	46	48	7	44	0	194
四国	24	24	22	2	20	1	93
九州	69	68	79	5	70	2	293
合計	459	462	459	65	417	13	1875
本年度の割合	24.5	24.6	24.5	3.5	22.2	0.7	100
昨年度の割合							
一昨年の割合							



その他

- ・学校運営協議会による評価
- ・開かれた学校づくり推進委員による評価
- ・学校関係者評価委員による評価
- ・公開授業やミニ集会等の出席者による評価

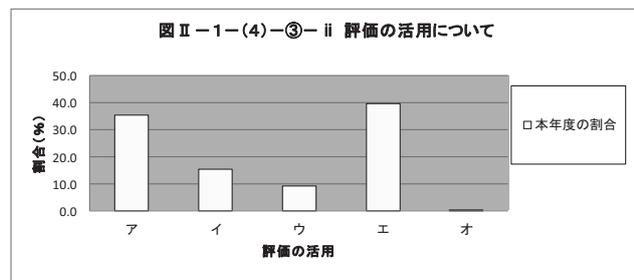
「地域住民による評価」を実施している学校は3.5%と少ない。

ii どのように活用していますか。

ア 次年度の学校目標設定に活かす イ 生徒指導に活かす ウ 学校PRに活用する  
エ 学校運営の改善に活かす オ その他

表Ⅱ-1-(4)-③-ii 評価の活用について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	13	5	4	16	0	38
東北	55	37	16	67	0	175
関東	80	36	25	89	1	231
北信越	36	12	9	32	0	89
東海	45	20	15	55	0	135
近畿	57	16	11	60	1	145
中国	48	15	9	47	0	119
四国	16	8	3	21	0	48
九州	66	34	17	78	0	195
合計	416	183	109	465	2	1175
本年度の割合	35.4	15.6	9.3	39.6	0.2	100
昨年度の割合						
一昨年の割合						



その他・学校評議員会での検討に使用

「学校運営の改善に活かす」「次年度の学校目標設定に活かす」の順に多い。

## 2. 学校改革についてのまとめ

### (1) 学校改革・学校活性化について

特に力を入れていることについて重要視されているのは、「資格指導」「特色ある教育課程の編成」「地域との連携」「ものづくり」「就職指導」の順であり、その中でも「特色ある教育課程の編成」「地域との連携」については増加傾向にある。

### (2) 職員の意識改革について

職員の意識改革で特に力を入れているものは、「保護者、地域への授業公開」「管理職による職員への積極的な情報の提示」「企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣」が多い。「管理職による職員への積極的な提示」は昨年と比べて増加している。

### (3) 長期休業期間について

長期休業中の短縮による授業は、「設定していない」が75.7%である。昨年度は、臨時休業による影響が大きかったが、本年度は、一昨年度とほぼ同じ傾向になっている。

### (4) 学校目標・学校評価について

学校目標・グランドデザインを設定している学校が84.5%であり、「教科指導」を柱にしている学校が32.0%である。また、学校評価については「地域住民による評価」が3.5%と少なく、「学校運営の改善に活かす」「次年度の学校目標設定に活かす」の順で活用されている。

### Ⅲ 産学連携・地域連携について

#### ○ 調査目的

望ましい勤労観、職業観の育成や社会への奉仕精神の涵養とともに、開かれた学校づくりを推進するために、各学校では様々な取り組みを行っている。一方、近年の若者を中心としたものづくり離れ、熟練技能者の高齢化などは、我が国の経済発展を担うものづくり基盤技術の継承を困難なものにしつつある。

そこで、地域や産業界とのパートナーシップの確立や、ものづくりに関する学校教育の充実に資するよう、学校と地域との連携状況、産学の連携状況を調査した。

#### 1. インターンシップについて

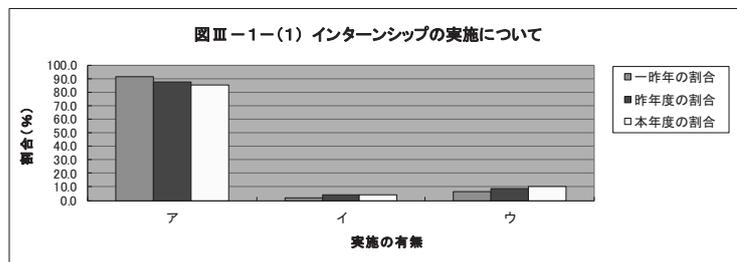
##### (1) インターンシップの実施について

インターンシップの実施について伺います。

ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表Ⅲ-1- (1) インターンシップの実施について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	18	0	1	19
東北	70	4	3	77
関東	94	8	11	113
北信越	46	0	1	47
東海	58	1	7	66
近畿	50	7	16	73
中国	46	4	8	58
四国	23	0	3	26
九州	90	2	11	103
合計	495	26	61	582
本年度の割合	85.1	4.5	10.5	100
前年度の割合	87.3	4.2	8.5	100
一昨年の割合	91.4	2.1	6.5	100



「実施している」が85.1%で、「検討中」「実施なし」は少ない。

##### (2) 実施している学校の実施内容について

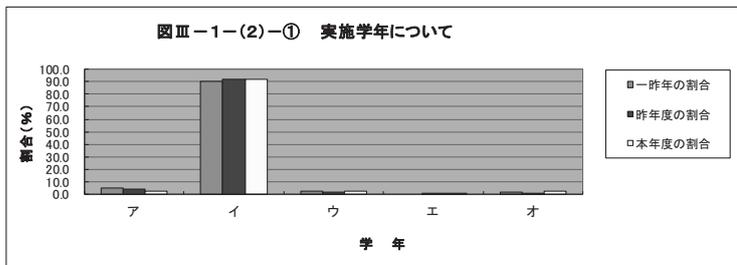
###### ① 実施学年について

実施学年についてお答えください。

ア 1年      イ 2年      ウ 3年      エ 4年      オ その他

表Ⅲ-1-(2)-① 実施学年について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	1	15	1	0	1	18
東北	0	68	2	0	0	70
関東	0	85	1	0	3	89
北信越	1	43	1	0	1	46
東海	2	54	0	0	2	58
近畿	5	39	3	1	2	50
中国	5	38	3	0	1	47
四国	0	22	1	0	0	23
九州	1	86	1	0	2	90
合計	15	450	13	1	12	491
本年度の割合	3.1	91.6	2.6	0.2	2.4	100
前年度の割合	4.5	91.8	2.2	0.2	1.4	100
一昨年の割合	5.1	89.9	2.8	0.0	2.1	100



「2年生」の実施が91.6%で最も多い。

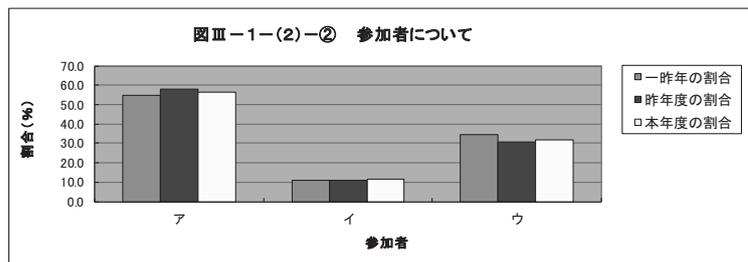
###### ② 参加者について

参加者についてお答えください。

ア 学年全員      イ 科の生徒全員      ウ 一部の生徒

表Ⅲ-1-(2)-② 参加者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	14	3	1	18
東北	49	11	10	70
関東	47	3	45	95
北信越	25	11	10	46
東海	20	5	32	57
近畿	21	3	24	48
中国	23	7	17	47
四国	14	2	6	22
九州	65	11	12	88
合計	278	56	157	491
本年度の割合	56.6	11.4	32.0	100
前年度の割合	58.0	11.1	30.9	100
一昨年の割合	54.6	11.2	34.2	100



「学年全員」での実施が56.6%である。

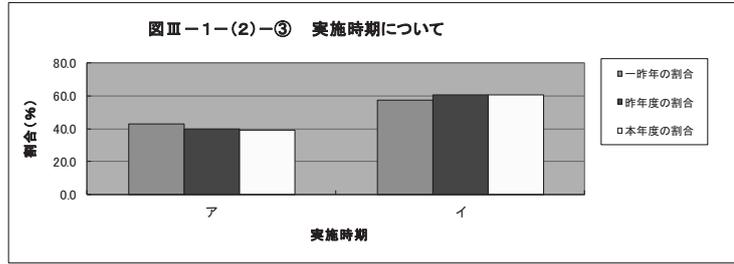
### ③ 実施時期について

実施時期についてお答えください。

ア 長期休業中      イ 授業日 ( ) 月

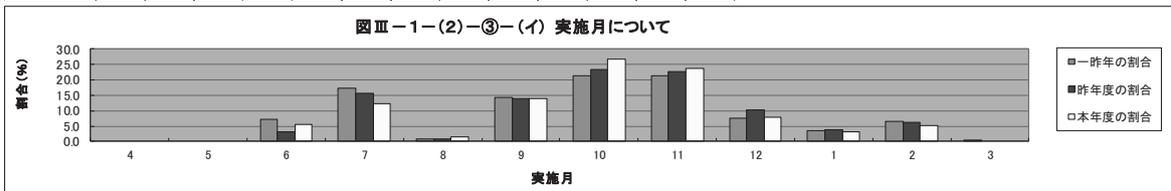
表Ⅲ-1-(2)-③ 実施時期について

	ア	イ	合計
北海道	1	16	17
東北	6	56	62
関東	45	42	87
北信越	21	24	45
東海	37	20	57
近畿	26	24	50
中国	22	25	47
四国	5	17	22
九州	23	64	87
合計	186	288	474
本年度の割合	39.2	60.8	100
前年度の割合	39.5	60.5	100
一昨年の割合	42.7	57.3	100



表Ⅲ-1-(2)-③-(イ) 実施時期 ( ) 月

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
北海道	0	0	2	1	0	8	4	1	0	0	0	0	16
東北	0	0	9	11	2	17	18	2	2	0	1	0	62
関東	0	0	0	4	0	4	15	10	4	1	6	0	44
北信越	0	0	3	5	0	0	8	9	0	0	0	0	25
東海	0	0	0	3	1	0	6	8	0	1	2	0	21
近畿	0	0	1	4	0	1	2	7	4	4	1	0	24
中国	0	0	2	3	0	3	2	6	2	1	3	0	22
四国	0	0	0	0	0	3	6	6	0	2	1	0	18
九州	0	0	0	6	1	6	19	22	12	0	2	0	68
合計	0	0	17	37	4	42	80	71	24	9	16	0	300
本年度の割合	0.0	0.0	5.7	12.3	1.3	14.0	26.7	23.7	8.0	3.0	5.3	0.0	100
前年度の割合	0.0	0.0	3.2	15.6	0.6	14.0	23.5	22.9	10.2	3.8	6.3	0.0	100
一昨年の割合	0.0	0.0	7.1	17.2	0.6	14.3	21.4	21.4	7.5	3.6	6.5	0.3	100



授業日実施が60.8%、長期休業中が39.2%であり傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」と「11月」実施が多く、増加傾向にある。

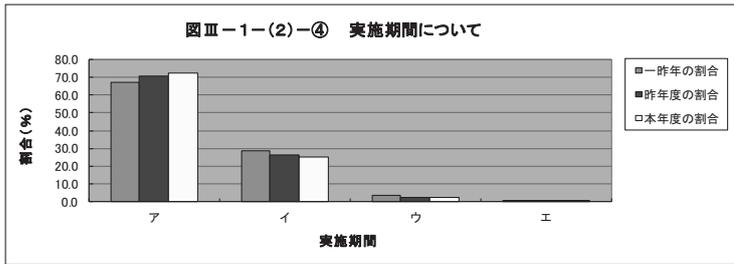
### ④ 実施期間について

実施期間についてお答えください。

ア 3日以内      イ 4～5日      ウ 1～2週間      エ 2週間以上

表Ⅲ-1-(2)-④ 実施期間について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	15	2	0	0	17
東北	61	7	2	0	70
関東	62	26	3	0	91
北信越	38	7	0	0	45
東海	44	12	0	0	56
近畿	24	22	1	1	48
中国	31	14	1	0	46
四国	16	5	2	0	23
九州	59	26	2	0	87
合計	350	121	11	1	483
本年度の割合	72.5	25.1	2.3	0.2	100
前年度の割合	70.7	26.3	2.4	0.6	100
一昨年の割合	67.5	28.6	3.3	0.6	100



「3日以内」が72.5%と最も多く、4日以上の学校は減少している。

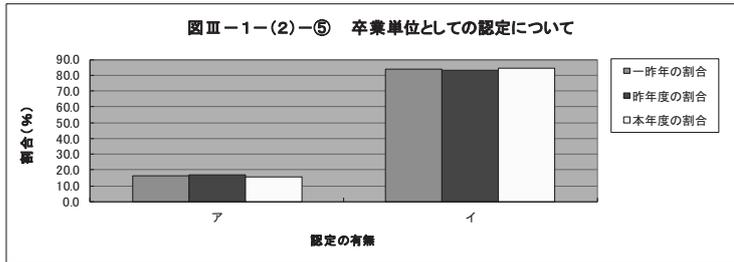
### ⑤ 卒業単位としての認定について

卒業単位としての認定の有無についてお答えください。

ア する      イ しない

表Ⅲ-1-(2)-⑤ 卒業単位としての認定について

	ア	イ	合計
北海道	6	12	18
東北	7	63	70
関東	17	74	91
北信越	6	40	46
東海	11	46	57
近畿	6	42	48
中国	9	38	47
四国	8	15	23
九州	7	82	89
合計	77	412	489
本年度の割合	15.7	84.3	100
前年度の割合	17.0	83.0	100
一昨年の割合	16.2	83.8	100



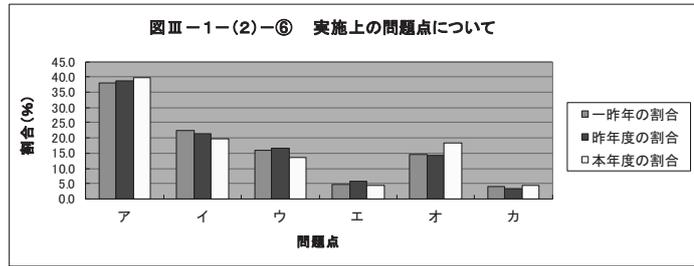
これまでと同様に大きな変化はない。卒業単位として認定している学校が15.7%ある。

## ⑥ 実施上の問題点について

実施上の問題点はどんなことですか。(3つ以内)  
 ア 受け入れ企業の問題      イ 事前・事後の打合せ      ウ 校内指導体制  
 エ カリキュラムとの関連      オ 安全対策      カ その他

表Ⅲ-1-(2)-⑥ 実施上の問題点について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	13	4	0	2	6	3	28
東北	53	26	20	8	28	4	139
関東	72	36	32	6	32	7	185
北信越	38	20	8	2	19	7	94
東海	40	28	17	5	14	6	110
近畿	35	19	18	4	15	3	94
中国	37	17	15	8	19	3	99
四国	21	5	5	1	6	3	41
九州	76	35	16	6	37	5	175
合計	385	190	131	42	176	41	965
本年度の割合	39.9	19.7	13.6	4.4	18.2	4.2	100
昨年度の割合	38.8	21.5	16.5	5.6	14.2	3.3	100
一昨年の割合	38.2	22.5	16.1	4.7	14.5	4.1	100



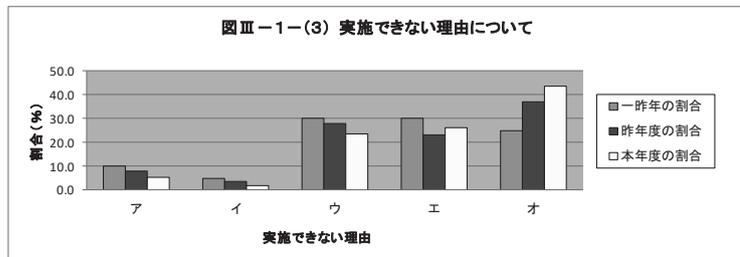
「受け入れ企業の問題」が39.9%と最も多く、「安全対策」「その他」共に増加している。

## (3) インターンシップが実施できない理由について

インターンシップが実施できない理由は何ですか。(複数回答可)  
 ア 地域に企業が少ない      イ 費用      ウ 指導体制  
 エ 日程      オ その他

表Ⅲ-1-(3) 実施できない理由について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	0	0	1	0	0	1
東北	0	0	3	3	3	9
関東	2	0	4	3	14	23
北信越	0	0	0	0	1	1
東海	0	0	3	2	5	10
近畿	1	0	7	6	14	28
中国	0	1	5	9	5	20
四国	0	0	0	0	3	3
九州	3	1	4	7	5	20
合計	6	2	27	30	50	115
本年度の割合	5.2	1.7	23.5	26.1	43.5	100
昨年度の割合	8.1	3.5	27.9	23.3	37.2	100
一昨年の割合	10.0	5.0	30.0	30.0	25.0	100



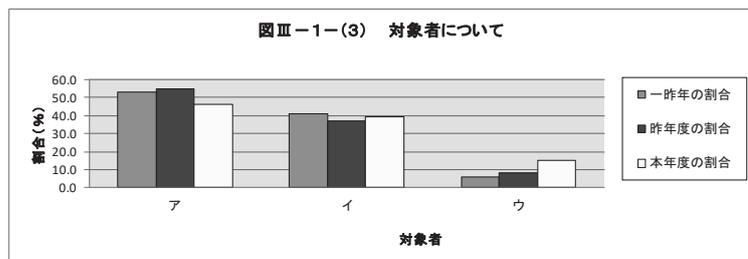
実施できない学校の理由は「その他」が増加しており、昨年度に引き続き最も多い。

## (4) 2020年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います)

実施対象者についてお答えください。  
 ア 全員に実施している      イ 一部の生徒に実施する      ウ 全く実施しない

表Ⅲ-1-(3) 対象者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	14	4	1	19
東北	46	19	9	74
関東	41	52	17	110
北信越	29	14	1	44
東海	17	38	10	65
近畿	19	38	14	71
中国	23	24	12	59
四国	13	8	4	25
九州	59	25	17	101
合計	261	222	85	568
本年度の割合	46.0	39.1	15.0	100
昨年度の割合	54.8	37.1	8.1	100
一昨年の割合	53.3	40.8	6.0	100



「全員に実施している」が減少し、「一部の生徒に実施する」が微増している。「全く実施しない」が昨年度の約2倍の割合となっている。

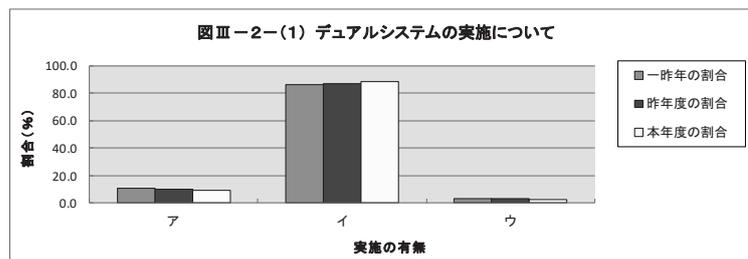
## 2. デュアルシステムについて

### (1) デュアルシステムの実施について

デュアルシステムの実施について伺います。  
 ア 実施している      イ 実施していない      ウ 検討中

表Ⅲ-2-(1) デュアルシステムの実施について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	1	18	0	19
東北	1	75	1	77
関東	15	96	4	115
北信越	12	35	0	47
東海	6	57	2	65
近畿	4	67	2	73
中国	4	53	1	58
四国	3	22	1	26
九州	6	93	4	103
合計	52	516	15	583
本年度の割合	8.9	88.5	2.6	100
昨年度の割合	10.0	86.9	3.1	100
一昨年の割合	10.7	86.3	3.0	100



88.5%の学校が未実施である。

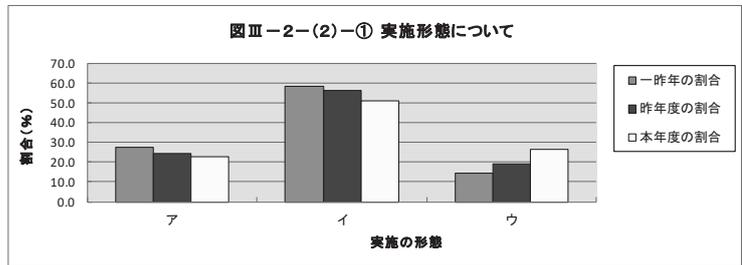
## (2) デュアルシステムの実施内容について

### ① 実施形態について

実施形態をお答えください。  
 ア 長期休業中      イ 科目に割り当て週毎に実施      ウ その他

表Ⅲ-2-(2)-① 実施形態について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	0	1	0	1
東北	2	0	0	2
関東	3	7	5	15
北信越	4	6	2	12
東海	0	5	1	6
近畿	0	2	2	4
中国	1	2	1	4
四国	0	2	1	3
九州	2	2	2	6
合計	12	27	14	53
本年度の割合	22.6	50.9	26.4	100
前年度の割合	24.6	56.1	19.3	100
一昨年の割合	27.4	58.1	14.5	100



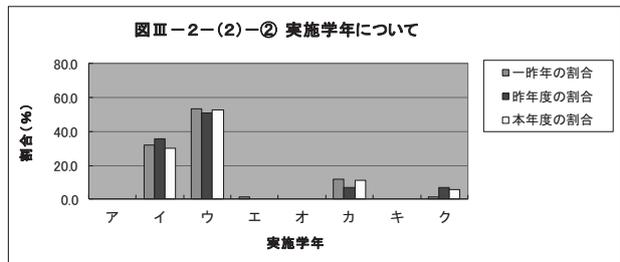
「科目に割り当て週毎に実施」「長期休業中」が年々減少している。

### ② 実施学年について

実施学年をお答えください。  
 ア 1年      イ 2年      ウ 3年      エ 4年  
 オ 1～2年      カ 2～3年      キ 3～4年      ク 3年間以上

表Ⅲ-2-(2)-② 実施学年について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	合計
北海道	0	0	1	0	0	0	0	0	1
東北	0	0	2	0	0	0	0	0	2
関東	0	5	6	0	0	3	0	1	15
北信越	0	7	5	0	0	0	0	0	12
東海	0	0	4	0	0	1	0	1	6
近畿	0	1	2	0	0	1	0	0	4
中国	0	2	1	0	0	1	0	0	4
四国	0	0	3	0	0	0	0	0	3
九州	0	1	4	0	0	0	0	1	6
合計	0	16	28	0	0	6	0	3	53
本年度の割合	0.0	30.2	52.8	0.0	0.0	11.3	0.0	5.7	100
前年度の割合	0.0	35.6	50.8	0.0	0.0	6.8	0.0	6.8	100
一昨年の割合	0.0	31.7	53.3	1.7	0.0	11.7	0.0	1.7	100



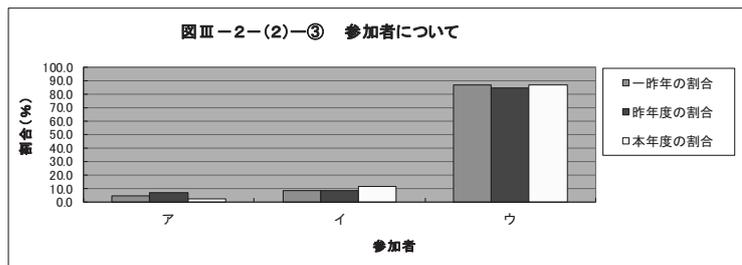
「3年」または「2年」の単年度実施がほとんどである。

### ③ 参加者について

参加者をお答えください。  
 ア 学年全員      イ 科の生徒全員      ウ 一部の生徒

表Ⅲ-2-(2)-③ 参加者について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	0	0	1	1
東北	0	0	2	2
関東	1	3	11	15
北信越	0	1	11	12
東海	0	0	6	6
近畿	0	1	3	4
中国	0	0	4	4
四国	0	0	3	3
九州	0	1	5	6
合計	1	6	46	53
本年度の割合	1.9	11.3	86.8	100
前年度の割合	6.8	8.5	84.7	100
一昨年の割合	4.9	8.2	86.9	100



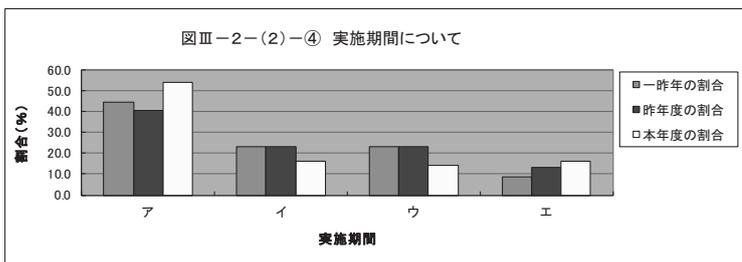
参加者は「一部の生徒」が86.8%であり、集団を対象とした学校数は少ない。

### ④ 実施期間について

実施期間をお答えください。  
 ア 1～2ヵ月程度      イ 3ヵ月程度      ウ 半年程度      エ 1年以上

表Ⅲ-2-(2)-④ 実施期間について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	1	0	0	0	1
東北	2	0	0	0	2
関東	9	2	1	2	14
北信越	5	3	1	1	10
東海	1	0	2	3	6
近畿	3	1	0	0	4
中国	1	1	1	1	4
四国	1	1	1	0	3
九州	4	0	1	1	6
合計	27	8	7	8	50
本年度の割合	54.0	16.0	14.0	16.0	100
前年度の割合	40.4	23.1	23.1	13.5	100
一昨年の割合	44.6	23.2	23.2	8.9	100



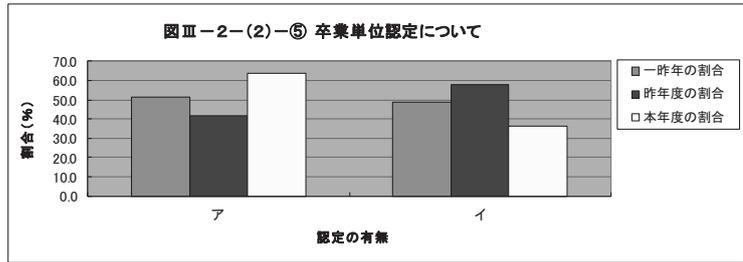
「1～2ヵ月程度」が54.0%と増加し、「3ヵ月程度」「半年程度」が減少している。

⑤ 卒業の単位としての認定の有無について

卒業の単位としての認定についてお答えください。  
ア する イ しない

表Ⅲ-2-(2)-⑤ 卒業単位認定について

	ア	イ	合計
北海道	1	0	1
東北	0	1	1
関東	14	1	15
北信越	6	6	12
東海	4	2	6
近畿	0	4	4
中国	3	1	4
四国	3	0	3
九州	2	4	6
合計	33	19	52
本年度の割合	63.5	36.5	100
昨年度の割合	42.0	58.0	100
一昨年の割合	51.4	48.6	100



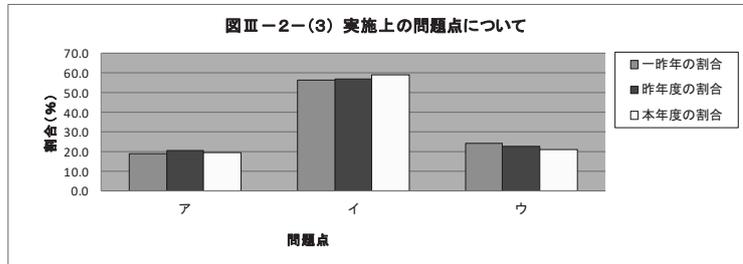
認定する学校の割合が増加している。

(3) デュアルシステムを実施していない学校の実施上の問題点について

実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可)  
ア 受け入れ企業が少ないから イ 時間割上、編成できないから ウ その他

表Ⅲ-2-(3) 実施上の問題点について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	8	13	4	25
東北	23	48	20	91
関東	10	64	30	104
北信越	4	24	10	38
東海	9	45	12	66
近畿	11	42	20	73
中国	10	40	10	60
四国	10	12	7	29
九州	32	63	13	108
合計	117	351	126	594
本年度の割合	19.7	59.1	21.2	100
昨年度の割合	20.6	56.7	22.6	100
一昨年の割合	19.1	56.4	24.5	100



実施していない学校の59.1%が「時間割上、編成できないから」と回答している。

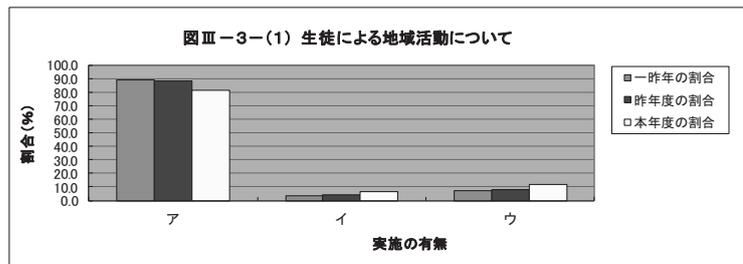
3. 地域との連携について

(1) 生徒による地域活動について

生徒による地域活動を実施していますか。  
ア 実施している イ 検討中(する方向で) ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(1) 生徒による地域活動について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	13	3	3	19
東北	65	6	6	77
関東	95	7	12	114
北信越	42	0	4	46
東海	56	3	6	65
近畿	57	3	13	73
中国	47	7	5	59
四国	24	0	2	26
九州	76	9	18	103
合計	475	38	69	582
本年度の割合	81.6	6.5	11.9	100
昨年度の割合	88.0	4.2	7.7	100
一昨年の割合	88.9	3.5	7.6	100



「実施している」が81.6%と減少している。

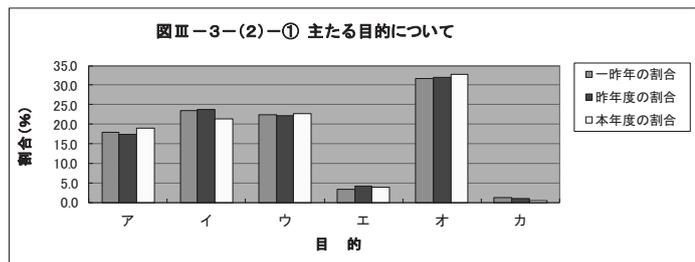
(2) (1)を実施している学校の実施内容について

① 主たる目的について

主たる目的をお答えください。(3つ以内)  
ア 生徒の地域理解 イ 地域の学校理解 ウ 学校のPR エ 郷土愛の育成  
オ 地域貢献 カ その他

表Ⅲ-3-(2)-① 主たる目的について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	8	9	9	0	11	0	37
東北	37	34	28	11	62	1	173
関東	31	58	58	5	75	1	228
北信越	27	18	19	5	34	0	103
東海	24	38	36	4	51	1	154
近畿	31	34	32	7	42	0	146
中国	28	24	25	7	42	1	127
四国	16	6	16	1	20	0	59
九州	31	40	55	7	63	0	196
合計	233	261	278	47	400	4	1223
本年度の割合	19.1	21.3	22.7	3.8	32.7	0.3	100
昨年度の割合	17.3	23.7	22.1	4.0	32.0	0.8	100
一昨年の割合	17.8	23.6	22.4	3.3	31.7	1.2	100



「地域貢献」が32.7%と最も多く、次いで「学校のPR」「地域の学校理解」の順となっている。

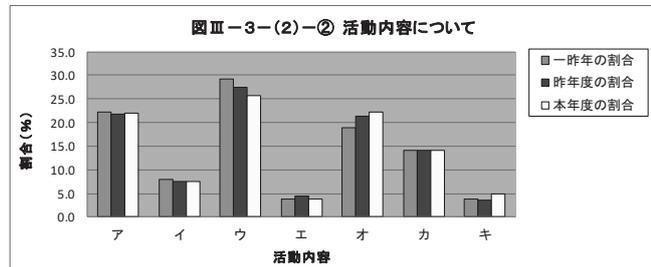
## ② 活動内容について

活動内容をお答えください。（3つ以内）

ア 清掃活動      イ 福祉施設等への訪問      ウ イベント（祭りなど）への参加  
エ 交通安全指導      オ ものづくり教室      カ 出前授業      キ その他

表Ⅲ-3-(2)-② 活動内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	5	1	8	1	12	4	1	32
東北	35	13	40	6	36	25	6	161
関東	49	18	63	12	51	36	12	241
北信越	22	10	28	3	22	7	4	96
東海	26	15	41	10	33	22	7	154
近畿	36	11	39	4	39	19	4	152
中国	29	8	30	3	20	19	10	119
四国	16	5	11	2	12	13	7	66
九州	48	9	51	4	44	27	7	190
合計	266	90	311	45	269	172	58	1211
本年度の割合	22.0	7.4	25.7	3.7	22.2	14.2	4.8	100
昨年度の割合	21.7	7.4	27.5	4.4	21.3	14.1	3.6	100
一昨年度の割合	22.2	7.9	29.3	3.8	18.9	14.1	3.8	100



「イベントへの参加」が25.7%と最も多いが減少傾向、次に「ものづくり教室」が多く、近年増加傾向であり「清掃活動」を超えている。

## キ その他の活動

その他の具体的な取り組み（主なものを記載）

- ・おもちゃ修理ボランティア
- ・公民館等の電気設備の点検・清掃
- ・テクノボランティア（電気工事等）
- ・ふるさと納税返礼品事業者カードの作成
- ・幼稚園の靴箱や木工品の製作
- ・小学校運動会グラウンド測量ボランティア
- ・環境保全活動
- ・古民家のリノベーション
- ・探求型学習による地域企業・団体との連携授業
- ・地域住民からの依頼によるDIY、物品修理
- ・地元小学生への高校生による専門実習や部活動の指導
- ・生徒が製作した遊具による幼稚園児との交流
- ・災害防止ボランティア
- ・サイバーセキュリティボランティア
- ・福祉キャラバン（手すり取付）
- ・街中のイルミネーションの設置
- ・高齢者宅の電気配線等の点検
- ・消毒用アルコールスタンド製作
- ・地域連携によるデザインプロジェクト
- ・市役所等と協働した公園等の整備
- ・公園の看板制作
- ・福祉施設の周知ポスター制作

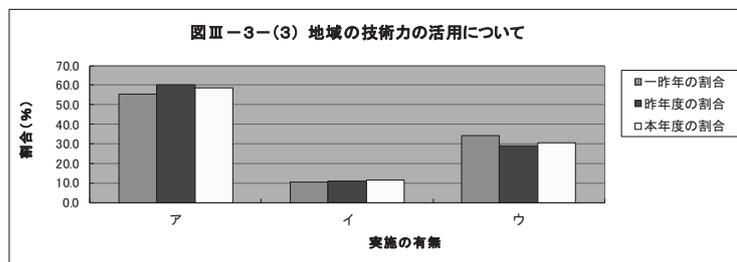
## (3) 地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて

地域の力を生徒の技術指導に生かすことを実施していますか。

ア 実施している      イ 検討中〔する方向で〕      ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(3) 地域の技術力の活用について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	15	2	2	19
東北	56	2	18	76
関東	57	19	39	115
北信越	34	7	6	47
東海	36	5	25	66
近畿	38	11	23	72
中国	38	4	17	59
四国	20	1	5	26
九州	47	14	42	103
合計	341	65	177	583
本年度の割合	58.5	11.1	30.4	100
昨年度の割合	60.3	11.0	28.7	100
一昨年度の割合	55.5	10.2	34.3	100



「実施している」が58.5%で、昨年度と同様の傾向である。

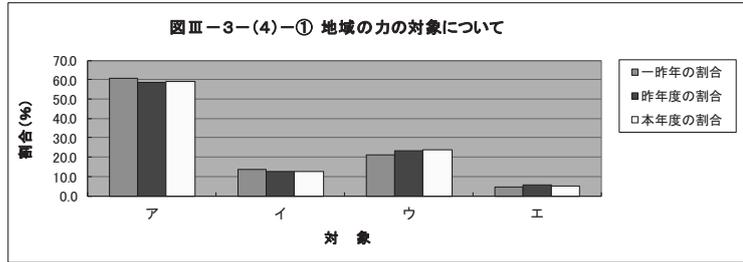
(4) (3) を実施している学校の実施内容について

① 地域の力の対象について

地域の力の対象をお答えください。(複数回答可)  
 ア 地場企業      イ 地域住民      ウ 近隣の大学・高専等      エ その他

表Ⅲ-3-(4)-① 地域の力の対象について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	16	2	7	0	25
東北	53	12	22	2	89
関東	49	11	32	11	103
北信越	39	8	19	2	68
東海	39	5	13	2	59
近畿	42	12	13	5	72
中国	40	9	15	4	68
四国	20	5	5	1	31
九州	50	9	15	3	77
合計	348	73	141	30	592
本年度の割合	58.8	12.3	23.8	5.1	100
前年度の割合	58.7	12.7	23.1	5.5	100
一昨年の割合	60.6	13.6	21.2	4.7	100



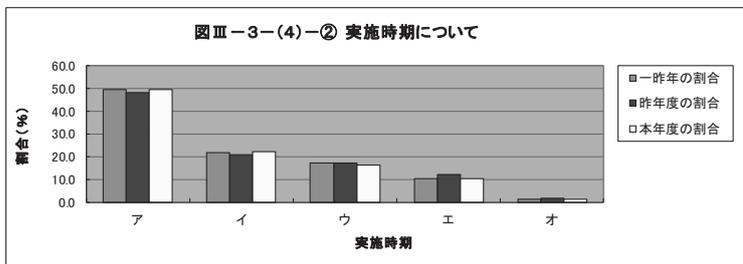
「地場企業」が58.8%と最も多く、「近隣の大学・高専等」が増加している。

② 実施時期について

実施時期をお答えください。(複数回答可)  
 ア 授業中      イ 放課後      ウ 長期休業中      エ 週休日      オ その他

表Ⅲ-3-(4)-② 実施時期について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	13	6	3	1	0	23
東北	49	28	15	13	2	107
関東	61	27	29	17	2	136
北信越	38	14	9	5	0	66
東海	37	18	14	6	0	75
近畿	42	16	16	8	2	84
中国	35	16	9	10	1	71
四国	18	10	5	3	1	37
九州	49	19	12	7	2	89
合計	342	154	112	70	10	688
本年度の割合	49.7	22.4	16.3	10.2	1.5	100
前年度の割合	48.0	20.8	17.1	12.3	1.8	100
一昨年の割合	49.6	21.7	17.0	10.5	1.1	100



「授業中」が49.7%と最も多く、他の割合も大きな変化がない。

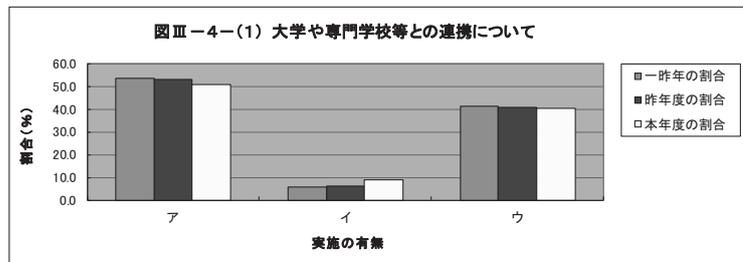
4. 高・大学等連携について

(1) 大学や専門学校等との連携の実施について

大学や専門学校等との連携を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中 [する方向で]      ウ 実施していない

表Ⅲ-4-(1) 大学や専門学校等との連携について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	8	2	9	19
東北	42	6	29	77
関東	66	16	32	114
北信越	29	3	15	47
東海	36	3	27	66
近畿	34	10	29	73
中国	24	8	27	59
四国	15	1	10	26
九州	43	3	57	103
合計	297	52	235	584
本年度の割合	50.9	8.9	40.2	100
前年度の割合	53.0	6.3	40.7	100
一昨年の割合	53.3	5.8	40.9	100



「実施していない」は40.2%で例年とほぼ同じであるが、「実施している」が減少し、「検討中」が増加している。

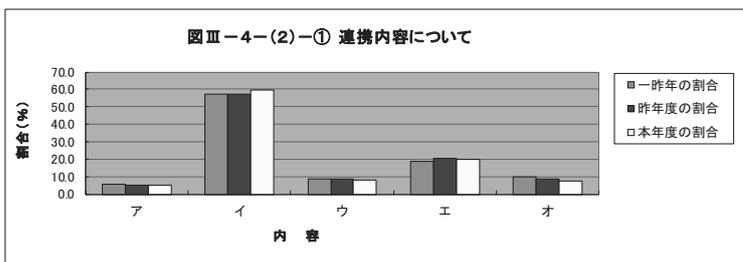
(2) (1) を実施している学校の実施内容について

① 連携内容について

連携内容をお答えください。(3つ以内)  
 ア 単位の修得      イ 知識・技術的な支援      ウ 授業補助 (チューター)  
 エ 施設利用      オ その他

表Ⅲ-4-(2)-① 連携内容について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	0	8	2	6	0	16
東北	1	37	5	8	2	53
関東	5	53	3	18	10	89
北信越	0	27	3	8	2	40
東海	6	33	2	11	2	54
近畿	3	23	7	11	5	49
中国	1	22	5	6	1	35
四国	0	11	2	2	3	18
九州	4	34	5	12	5	60
合計	20	248	34	82	30	414
本年度の割合	4.8	59.9	8.2	19.8	7.2	100
前年度の割合	4.9	57.1	8.8	20.4	8.8	100
一昨年の割合	5.5	57.3	8.9	18.4	10.0	100



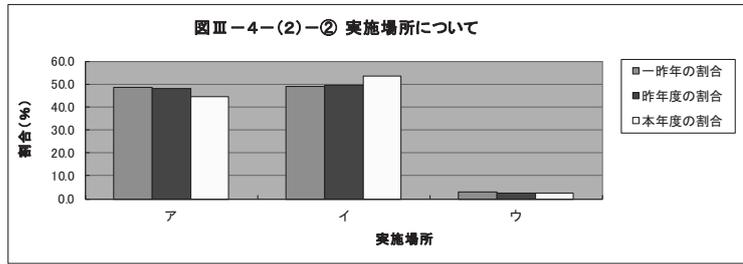
「知識・技術的な支援」が59.9%と最も多く、半数以上を占めている。

② 実施場所について

実施場所をお答えください。(複数回答可)  
 ア 連携先で実施      イ 自校で実施      ウ その他

表Ⅲ-4-(2)-② 実施場所について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	6	7	0	13
東北	23	28	0	51
関東	37	46	4	87
北信越	16	22	1	39
東海	21	25	1	47
近畿	22	25	0	47
中国	14	19	0	33
四国	8	10	2	20
九州	26	26	1	53
合計	173	208	9	390
本年度の割合	44.4	53.3	2.3	100
昨年度の割合	47.9	49.5	2.6	100
一昨年の割合	48.3	48.8	2.9	100



「自校で実施」が増加し「連携先で実施」が減少している。

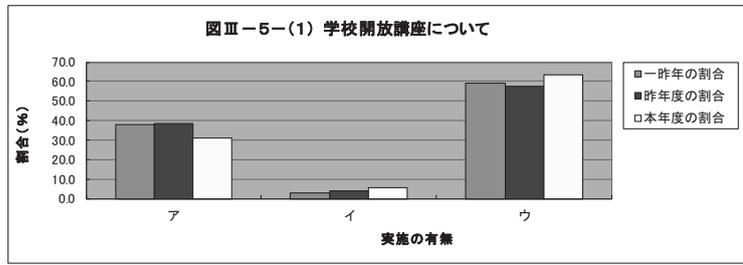
5. 学校開放講座について

(1) 学校開放講座の実施について

学校開放講座を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表Ⅲ-5-(1) 学校開放講座について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	12	2	5	19
東北	25	5	47	77
関東	44	5	66	115
北信越	6	4	37	47
東海	19	0	47	66
近畿	22	3	48	73
中国	19	4	36	59
四国	8	2	16	26
九州	26	7	69	102
合計	181	32	371	584
本年度の割合	31.0	5.5	63.5	100
昨年度の割合	38.4	4.0	57.6	100
一昨年の割合	37.7	3.0	59.3	100



「実施している」は31.0%に減少し、「実施していない」が63.5%に増加している。

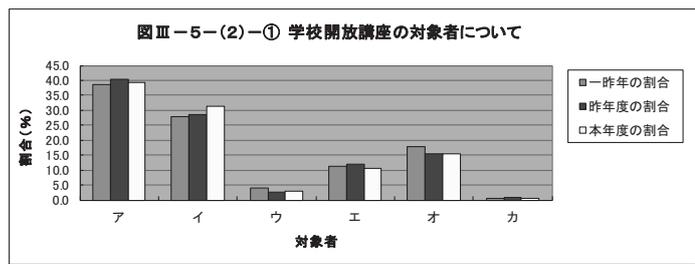
(2) (1) を実施している学校の実施内容について

① 学校開放講座の対象者について

学校開放講座の対象者をお答えください。(複数回答可)  
 ア 小学生      イ 中学生      ウ 高校生      エ 保護者      オ 一般人      カ その他

表Ⅲ-5-(2)-① 学校開放講座の対象者について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	11	4	0	2	2	1	20
東北	19	10	2	3	8	0	42
関東	28	21	3	9	14	1	76
北信越	2	3	0	1	2	0	8
東海	12	13	1	5	6	0	37
近畿	10	10	0	2	7	0	29
中国	14	10	3	4	4	0	35
四国	1	7	0	3	0	0	11
九州	20	15	0	2	3	0	40
合計	117	93	9	31	46	2	298
本年度の割合	39.3	31.2	3.0	10.4	15.4	0.7	100
昨年度の割合	40.5	28.7	2.7	11.8	15.5	0.8	100
一昨年の割合	38.6	27.9	3.8	11.2	17.8	0.5	100



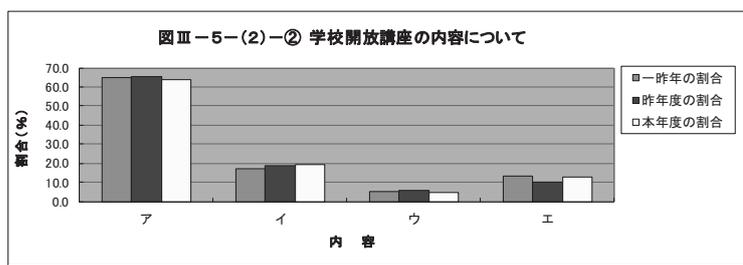
「小学生」「中学生」が多く、「中学生」対象が増加傾向である。

② 学校開放講座の内容について

学校開放講座の内容をお答えください。(複数回答可)  
 ア ものづくり      イ パソコン      ウ CAD      エ その他

表Ⅲ-5-(2)-② 学校開放講座の内容について

	ア	イ	ウ	エ	合計
北海道	12	3	0	1	16
東北	20	8	1	4	33
関東	37	12	3	8	60
北信越	3	1	1	2	7
東海	16	7	0	5	28
近畿	18	4	2	4	28
中国	16	3	2	2	23
四国	6	3	0	3	12
九州	27	6	2	2	37
合計	155	47	11	31	244
本年度の割合	63.5	19.3	4.5	12.7	100
昨年度の割合	65.3	18.9	5.7	10.1	100
一昨年の割合	64.8	17.3	4.9	13.0	100



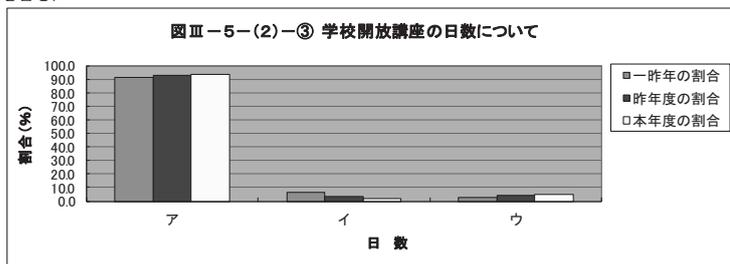
「ものづくり」が63.5%と最も多い。割合にあまり変化はない。

### ③ 講座日数について

講座日数をお答えください。（断続を含む）  
 ア 5日以下      イ 10日以下      ウ 11日以上

表Ⅲ-5-(2)-③ 学校開放講座の日数について（断続を含む）

	ア	イ	ウ	合計
北海道	12	0	0	12
東北	25	0	0	25
関東	42	1	1	44
北信越	6	0	0	6
東海	18	0	1	19
近畿	16	1	5	22
中国	18	1	0	19
四国	8	0	0	8
九州	25	0	2	27
合計	170	3	9	182
本年度の割合	93.4	1.6	4.9	100
昨年度の割合	92.6	3.1	4.4	100
一昨年の割合	91.0	6.3	2.7	100



「5日以下」が93.4%と最も多い。

## 6. 産学連携・地域連携についてのまとめ

### (1) インターンシップについて

「実施している」が85.1%と大半である。実施している学校は2年生、学年全員で取り組む学校が多い。実施時期は、授業日実施が60.8%、長期休業中が39.2%で傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」と「11月」実施が多い。実施期間は3日以内が最も多く、また単位認定する学校が15.7%ある。実施上の問題点は、「受け入れ企業の問題」が39.9%で最も多く、次いで「安全対策」が18.2%で昨年度より4.0ポイント増加した。2020年度以降の実施対象者については、「全員に実施している」が8.8ポイント減少し、「全く実施しない」が7.9ポイント増加した。これらのことは、感染症対策に起因しているものと考えられる。

### (2) デュアルシステムについて

実施している学校は8.9%である。実施は「科目に割り当て週毎に実施」が50.9%、「長期休業中」が22.6%でともに減少している。実施学年については、3年または2年の単年度実施がほとんどである。参加者については、「一部の生徒」の参加がほとんどで、実施期間は「1~2ヶ月程度」が最も多い。卒業単位の認定をする学校が増加している。実施上の問題点は、59.1%が「時間割上、編成できないから」、19.7%が「受け入れ企業が少ないから」と回答している。

### (3) 地域との連携について

「実施している」が81.6%と減少しており、感染症対策の影響によるものと考えられる。内容については、「地域貢献」が最も多く、「郷土愛の育成」は少ないものの「学校のPR」「地域の学校理解」など多くの目的を持って実施されている。活動内容については「イベントへの参加」が最も多く、「ものづくり教室」が増加し、「清掃活動」を超えている。地域の力を生徒の技術指導に生かすことの実施は58.5%である。地域の力としては「地場企業」が58.8%で、安定している。実施時期は「授業中」が49.7%で最も多く、他の割合も大きな変化がない。

### (4) 高・大学等連携について

「実施している」学校が50.9%、「実施していない」学校が40.2%と例年同様の傾向である。連携内容は「知識・技術的な支援」が59.9%と最も多い。実施場所は、「連携先」と「自校」が半々となっている。

### (5) 学校開放講座について

「実施している」は31.0%となっている。対象者は「小学生」「中学生」が多く、「高校生」「保護者」は少ない。講座内容は「ものづくり」が63.5%で、期間は「5日以下」が93.4%と最も多い。

#### IV 学習指導・評価について

##### ○ 調査目的

授業を進めるための基礎として授業内容や評価についてシラバスを作成している。分かる授業や生徒の学習意欲向上のためにも必要なものでもある。そこでシラバスの作成状況について調査した。また、教育の質的向上のために、生徒による授業評価の調査だけでなく、地域や保護者等の学校外部による授業評価状況についても調査した。

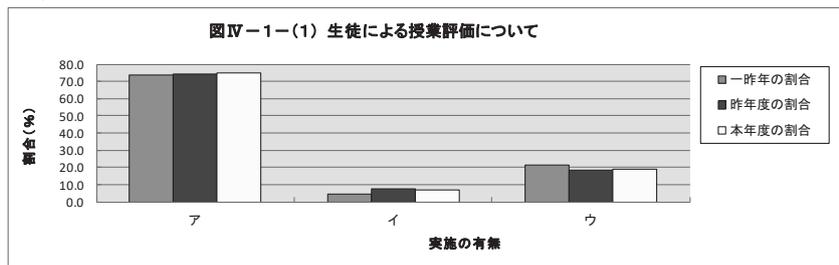
#### 1. 授業評価について

##### (1) 生徒による授業評価について

生徒による授業評価を実施していますか。  
 ア 実施している      イ 検討中      ウ 実施していない

表IV-1-(1) 生徒による授業評価について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	14	4	1	19
東北	61	4	12	77
関東	88	7	19	114
北信越	36	0	11	47
東海	34	6	26	66
近畿	60	2	11	73
中国	49	5	5	59
四国	24	0	2	26
九州	69	11	22	102
合計	435	39	109	583
本年度の割合	74.6	6.7	18.7	100
昨年度の割合	74.3	7.3	18.5	100
一昨年の割合	73.9	4.6	21.5	100



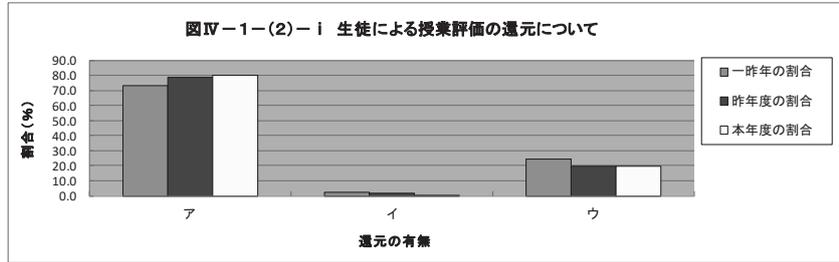
「実施している」が74.6%である。

##### (2) 実施している学校の授業への還元について

i 授業に還元できていますか  
 ア できている      イ できていない      ウ どちらともいえない

表IV-1-(2)-i 生徒による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	12	0	2	14
東北	49	0	12	61
関東	69	0	20	89
北信越	28	0	8	36
東海	25	0	9	34
近畿	48	1	11	60
中国	46	0	3	49
四国	19	0	5	24
九州	54	0	15	69
合計	350	1	85	436
本年度の割合	80.3	0.2	19.5	100
昨年度の割合	78.7	1.4	19.9	100
一昨年の割合	73.3	2.3	24.4	100



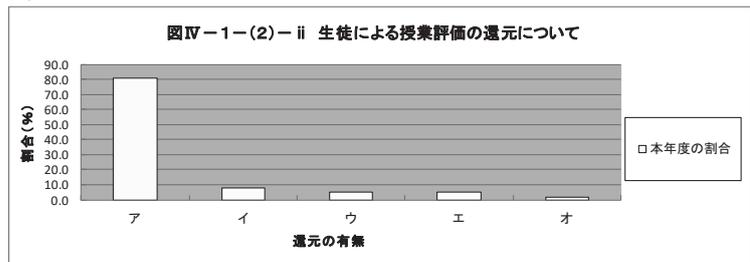
「できている」としている学校が80.3%で増加している。

##### (2) どのように還元できていますか

ii どのように還元できていますか  
 ア 授業の教授法の改善      イ 生徒の学習習慣の改善      ウ 生徒の学力向上  
 エ 教授法の研修・共有      オ その他

表IV-1-(2)-ii 生徒による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	11	1	1	0	0	13
東北	38	2	3	5	0	48
関東	58	6	4	2	0	70
北信越	24	1	2	0	0	27
東海	23	1	2	1	1	28
近畿	38	3	0	4	1	46
中国	36	5	1	1	2	45
四国	16	2	1	1	0	20
九州	40	7	3	3	1	54
合計	284	28	17	17	5	351
本年度の割合	80.9	8.0	4.8	4.8	1.4	100
昨年度の割合						
一昨年の割合						



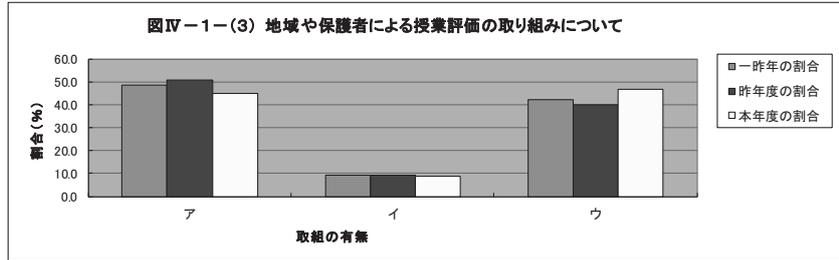
「授業の教授法の改善」が80.9%で、他の割合は少ない。

### (3) 地域の人や保護者による授業評価について

地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。  
 ア 取り組んでいる      イ 検討中      ウ 取組はない

表Ⅳ-1-(3) 地域や保護者による授業評価の取り組みについて

	ア	イ	ウ	合計
北海道	11	2	6	19
東北	27	8	41	76
関東	63	9	43	115
北信越	26	5	16	47
東海	19	4	43	66
近畿	36	8	29	73
中国	26	7	26	59
四国	15	2	9	26
九州	38	6	58	102
合計	261	51	271	583
本年度の割合	44.8	8.7	46.5	100
昨年度の割合	50.9	9.4	39.7	100
一昨年の割合	48.6	9.4	42.0	100



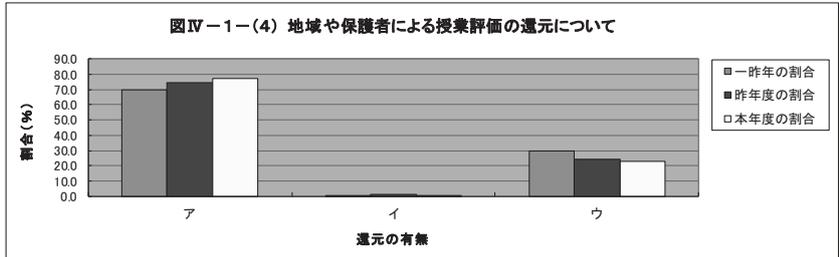
「取り組んでいる」が44.8%に減少し、「取組はない」が46.5%に増加している。

### (4) 取り組んでいる学校の授業への還元について

授業に還元できていますか。  
 ア できている      イ できていない      ウ どちらともいえない

表Ⅳ-1-(4) 地域や保護者による授業評価の還元について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	10	0	1	11
東北	22	0	5	27
関東	46	0	16	62
北信越	20	0	6	26
東海	15	0	4	19
近畿	31	1	4	36
中国	19	0	7	26
四国	11	0	4	15
九州	27	0	12	39
合計	201	1	59	261
本年度の割合	77.0	0.4	22.6	100
昨年度の割合	74.2	1.3	24.4	100
一昨年の割合	69.6	0.7	29.7	100



「できている」と回答した学校が77.0%と増加している。

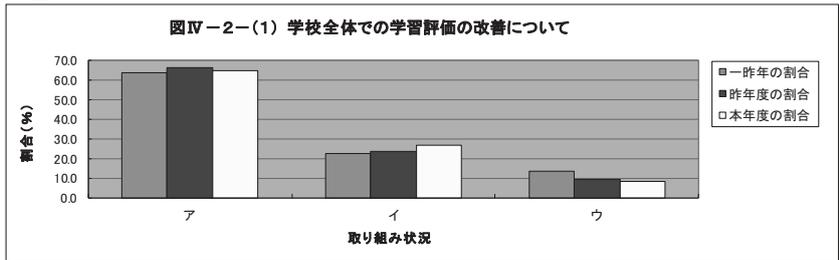
## 2. 学習評価の改善について

### (1) 学校全体での改善について

学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。  
 ア 学校全体で取り組んでいる      イ 一部で取り組んでいる  
 ウ 取り組んでいない

表Ⅳ-2-(1) 学校全体での学習評価の改善について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	13	6	0	19
東北	57	14	6	77
関東	80	25	10	115
北信越	33	11	3	47
東海	36	25	5	66
近畿	45	22	5	72
中国	35	17	7	59
四国	21	3	2	26
九州	58	34	11	103
合計	378	157	49	584
本年度の割合	64.7	26.9	8.4	100
昨年度の割合	66.7	23.9	9.4	100
一昨年の割合	64.0	22.4	13.5	100



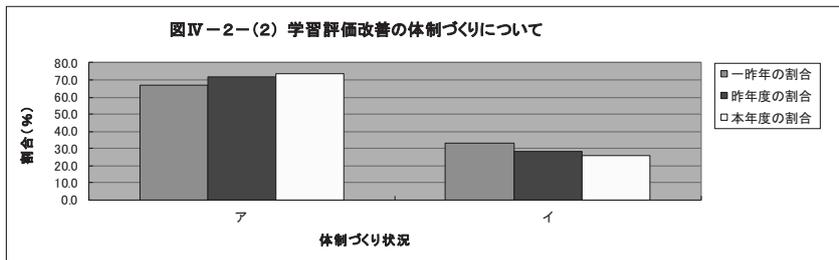
64.7%の学校が学校全体で評価の改善に取り組んでいる。

### (2) 体制づくりについて

改善のための体制づくりを行っていますか。  
 ア 行っている      イ 行っていない

表Ⅳ-2-(2) 学習評価改善の体制づくりについて

	ア	イ	合計
北海道	14	5	19
東北	59	18	77
関東	86	28	114
北信越	37	10	47
東海	45	20	65
近畿	52	21	73
中国	44	15	59
四国	20	6	26
九州	73	29	102
合計	430	152	582
本年度の割合	73.9	26.1	100
昨年度の割合	72.0	28.0	100
一昨年の割合	67.1	32.9	100



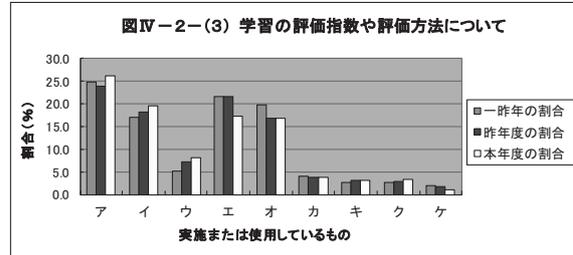
改善の体制づくりを行っている学校が73.9%と年々増加している。

### (3) 評価指標や評価方法について

実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)  
 ア 評定      イ 評点      ウ ルーブリック      エ 観点別評価  
 オ 自己評価      カ 生徒相互評価      キ パフォーマンス評価  
 ク ポートフォリオ評価      ケ その他

表Ⅳ-2-(3) 学習の評価指数や評価方法について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	合計
北海道	11	10	6	15	5	1	2	3	0	53
東北	42	33	11	38	34	7	7	5	4	181
関東	66	43	17	48	51	13	8	9	4	259
北信越	29	18	8	11	24	3	4	3	2	102
東海	41	30	11	37	12	2	7	5	1	146
近畿	44	32	11	18	28	7	4	5	0	149
中国	37	30	19	19	25	5	5	9	1	150
四国	20	14	3	8	13	2	0	0	2	62
九州	67	55	25	41	38	12	7	7	3	255
合計	357	265	111	235	230	52	44	46	17	1357
本年度の割合	26.3	19.5	8.2	17.3	16.9	3.8	3.2	3.4	1.3	100
昨年度の割合	24.0	18.2	7.3	21.7	16.9	3.8	3.2	3.0	1.8	100
一昨年度の割合	24.8	17.1	5.1	21.6	19.9	4.0	2.6	2.7	2.1	100



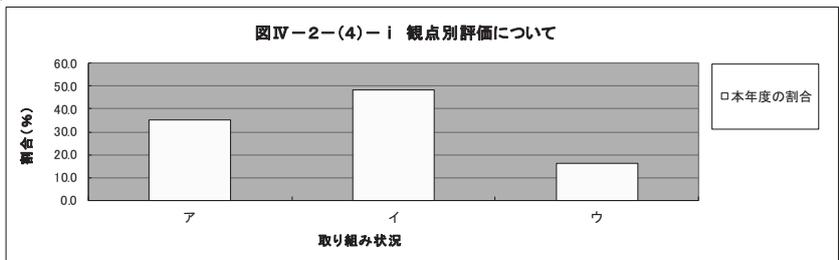
「評定」「評点」「観点別評価」「自己評価」の順に多い。延べ回答数が1357件(昨年1303件、一昨年875件)と増えていることから、多面的な評価を行う学校が増える傾向にあると思われる。

### (4) 観点別評価について

i 観点別評価に取り組んでいますか。  
 ア 導入している      イ 検討中      ウ 取り組んでいない

表Ⅳ-2-(4)-i 観点別評価について

	ア	イ	ウ	合計
北海道	15	3	1	19
東北	38	26	12	76
関東	43	50	21	114
北信越	12	25	10	47
東海	18	41	6	65
近畿	17	44	11	72
中国	20	25	13	58
四国	6	18	2	26
九州	35	47	18	100
合計	204	279	94	577
本年度の割合	35.4	48.4	16.3	100
昨年度の割合				
一昨年度の割合				



- ii どのように取り入れていますか。
- ・ シラバスに観点別評価を明記して生徒の周知
  - ・ 観点毎にABCの3段階で評価し評定をつける
  - ・ 定期考査での各観点を意識した問題作成
  - ・ 単元毎に評価を行う
  - ・ 学期毎に観点別評価を行い周知する
  - ・ 日誌形式で毎回評価を実施
  - ・ 到達度評価、要因分析、その他
  - ・ 定期考査のみに頼らない観点別評価
  - ・ 観点別に評価の割合を決め、授業への取組や課題/小テスト/定期テスト等を総合的に評価
  - ・ 実習等複数の教員で行う科目では、共通の基準を設けて評価を行う

導入している学校は35.4%である。

## 3. 学習指導・評価についてのまとめ

### (1) 授業評価について

生徒による授業評価を「実施している」は74.6%で、昨年度と同様の傾向である。また、授業に還元できている学校は80.3%である。地域の人や保護者による授業評価は、「取り組んでいる」が44.8%に減少し、「取組はない」は46.5%に増加している。また、授業に還元できている割合は77.0%と昨年より増加している。新学習指導要領の来年度からの年次進行とともに授業改善に積極的に取り組む必要がある。

### (2) 学習評価の改善について

学習評価の改善については、ほとんどの学校が全体または一部で取り組んでいる。そのため体制づくりが昨年より増加したが、さらなる取組が求められる。また、評価指標や評価方法については、「評定」「評点」「観点別評価」「自己評価」の割合が高く、新しい方法や多角的な評価を取り入れている学校が増える傾向にある。

観点別評価については、「実施している」が35.4%、「検討中」が48.4%である。新学習指導要領の来年度からの年次進行での実施に向けて、全ての学校が取り組む必要がある。

## あ　と　が　き

環境の変化が激しい現代社会においては、今の高校生が社会で活躍する年代になったときにその社会がどのようになっているのかを予測することは極めて困難です。しかし、環境の変化が激しい時代ほど、既存の発想にとらわれず、チャレンジ精神を持ち、新しい価値を社会に生み出すことができる、そのような人材が求められることは間違いのないところです。その要請に応えるためにも、私たち教職員は、様々な変遷を経ている工業教育にこれまで携わってきた経験と知見を生かしながら、生徒が在籍中に身につけるべき資質や能力を明確にする必要があります、さらにはそれぞれの学校が社会との関わりを十分に保ちながら、それぞれの学校の教育課程がその役割をしっかりと果たしていくことが重要となります。

このことは、新学習指導要領において「社会に開かれた教育課程」という理念として掲げられていますが、それは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創っていくという目標を学校と社会が共有し、学校においては、社会人として求められる資質・能力を身につけさせるために何をどのように学ばせるのかを明確にしながら、その実現を図っていくということです。具体的には、情報活用能力や問題解決能力など学習の基盤となる能力育成の観点から教科間の横断的な教育活動を導入したり、評価と改善をつなぐ意味でのPDCAサイクルの確立や地域の教育資源の活用といった地域社会との連携・協働の推進を図るなどの様々な取組が必要となってきます。

教育課程を中心に据えながら、このような様々な取組を実践していく考え方、すなわちカリキュラム・マネジメントの確立が求められる中、本調査のとりまとめがこれからの工業教育推進のための一つの指針となり、将来のスペシャリスト育成に向けた地域・産業界との連携・協働、特色ある学校づくりのさらなる推進や生徒たちの豊かな人間性の育成を進めるうえで参考になることを願っています。

末筆ではありますが、全国工業高等学校長協会並びに会員校のますますの充実・発展、会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます。



# 資 料

調査・回答用紙

昭和57年度以降の工業に関する学科新設及び廃止状況

年度別調査項目一覧表



ログアウト

[学校ポータルに戻る](#)

研究主題「教育課程」に関する調査

〔入力上の注意〕

- (1) 調査対象校は、全日制課程を設置する学校〔全日制・定時制併設校にあつては全日制課程のみ〕です。定時制課程については独立校のみです。
- (2) 複数の大学科を設置している学校は工業学科について回答してください。
- (3) 回答途中で5分以上未入力が続くと、データが登録されません。ご注意ください。
- (4) データ入力を中断する場合は「ログアウト」をおしてから退席してください。そこまでのデータは登録されています。再度入力する際にはログインしなおしてください。
- (5) 回答が完了したら「回答完了」ボタンを押してください。

I 教育課程に関する調査

1 教育課程の実施について伺います。

(1) 編成上の基本的な考え方は何ですか。(2つ以内)

- ア 基礎的な学力の定着  イ 専門的な技術・技能教育の充実  ウ キャリア教育の推進  エ 大学等進学希望者への対応  オ グローバル化への対応  カ 産業界との連携  キ その他

(2) 教育課程の実施にあたって、特に取り組む内容は何か。(3つ以内)

- ア 基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用  イ 学習習慣の確立  ウ 伝統や文化に関する教育  エ 環境保全に関する教育  オ 自他の生命を尊重する精神の涵養  カ 食育の推進  キ 安全教育の推進  ク 言語能力の育成  ケ 理数教育  コ 道徳教育  サ 外国語教育  シ 職業教育  ス 主権者教育  セ 消費者教育  ソ 情報教育  タ その他

(3) 卒業までの履修単位について伺います。

① 学科・コースによって異なる場合は単位数を代表的な学科・コースについて単位数を記入してください。

	全員履修科目単位数		選択科目単位数(最大)		総合的な学習の時間の単位数 (代替は含まない)	課題研究の単位数(代替を含む)
	普通科目	専門科目	普通科目	専門科目		
総計	<input type="text"/> 単位	<input type="text"/> 単位				

② 3年間または4年間の履修総単位数は何単位ですか。

単位 (HR活動の時間数を含んで回答してください)

③ 卒業に必要な科目の修得単位数は何単位ですか。

単位

(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について伺います。

① 実施予定単位の検討状況を教えてください。

- ア 決定済  イ 検討中

② 数学の予定または決定の単位数をお答えください。

数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C
<input type="text"/> 単位					

③ 理科の予定または決定の単位数をお答えください。

科学と人間生活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
<input type="text"/> 単位								

(5) 進学希望者の指導について

① 進学希望者の指導について教育課程上の対応をしていますか。

- ア はい  イ いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

i どのような対応をしていますか。(複数回答可)

- ア 選択教科  イ コース又は類型で指導  ウ その他

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

- ア 国語  イ 数学  ウ 英語  エ 物理  オ 化学  カ 地歴・公民  キ その他

iii iでアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数

- ア 4単位以下  イ 6単位以下  ウ 8単位以下  エ 10単位以下  オ 11単位以上

③ 教育課程以外で何か対応していますか。

ア はい  イ いいえ

④ ③でアと回答した学校に伺います。

i どの時期に対応をしていますか。(複数回答可)

ア 早朝もしくは放課後の課外授業で対応  イ 長期休業中  ウ その他

ii iでアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

ア 国語  イ 数学  ウ 英語  エ 物理  オ 化学  カ 地歴・公民  キ その他

(6) 大学入試、外部検定試験について

① 大学入試センター試験を受験していますか。

ア はい  イ いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

i 昨年度の受験者は何名ですか。(過年度卒も含む)

ii どのような対応をしていますか。

ア 教育課程上で対応  イ 教育課程以外で対応

iii 対応している教科・科目名(複数回答可)

ア 国語  イ 数学  ウ 英語  エ 物理  オ 化学  カ 地歴・公民  キ その他

iv 実際に受験した教科・科目名(複数回答可)

ア 国語  イ 数学  ウ 英語  エ 物理  オ 化学  カ 地歴・公民  キ その他

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

① ICT機器の活用について

工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答えください。

ア よく活用している  イ 少し活用している  ウ あまり活用していない  エ 全く活用していない

② ①でア、イと回答した学校に伺います。

i 活用しているICT機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可)

ア プロジェクタ  イ タブレット  ウ 電子黒板  エ スマートフォン  オ デジタルカメラ(ビデオ)  カ 書画カメラ(実物投影機)  キ その他

ii ICTを活用した授業の具体例についてお答えください。(複数回答可能)

ア プロジェクタ、書画カメラによる教材提示

イ タブレット、スマートフォンを活用しての資料検索や調べ学習

ウ タブレットを活用したプレゼンテーションや意見発表

エ デジタルカメラ、ビデオを活用した動画提示

オ タブレット、スマートフォンを活用した個別学習

カ その他

③ IoT技術についての取り組みはありますか。

ア はい  イ いいえ

④ ③でアと回答した学校に伺います。

具体的な取り組みをお答えください。

⑤ 人工知能(AI)についての取り組みはありますか。

ア はい  イ いいえ

⑥ ⑤でアと回答した学校に伺います。

具体的な取り組みをお答えください。

(8) 遠隔システムについて

① 遠隔システムを利用した授業を行っていますか

ア はい  イ いいえ

② ①でアと回答した学校に伺います。

具体的な状況を教えてください。

## II 学校改革に関する調査

### 1 学校改革・活性化について

(1) 学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

ア 学校の統合  イ 学科の新設や改編  ウ 入学者選抜の見直し  エ 特色ある教育課程の編成  オ 学校評価  カ 職員の意識改革  キ ものづくり  ク 挨拶・服装・マナー指導  ケ 進学指導  コ 就職指導  サ 資格指導  シ 部活動  ス 地域との連携  セ 企業や他の教育機関との連携  ソ その他

(2) 職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

ア 企業の人を招いての研修会・懇談会  イ 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣  ウ 職員グループによる学校の課題の研究  エ 教員評価システムの活用  オ 保護者、地域への授業公開  カ 管理職による職員への積極的な情報の提示  キ その他

(3) 長期休暇期間について伺います。

① 長期休業期間の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について伺います。

② 授業の内容

ア 通常日課の授業  イ 資格取得のための特別授業  ウ その他

(4) 学校目標・学校評価・グランドデザインについて伺います。

① 学校目標・グランドデザインを設定していますか。

ア はい  イ いいえ

② ①で「はい」と回答した学校に伺います。設定する学校目標の柱は何ですか(3つ以内)

ア 教科指導  イ 教科外指導  ウ 学校運営  エ 生徒指導  オ 地域連携  カ その他

③ 学校評価について伺います

i. 評価の仕方はどのようにしていますか？(活用しているものすべて)

ア 生徒評価  イ 保護者評価  ウ 学校評議員評価  エ 地域住民による評価  オ 教職員評価  カ その他

ii. どのように活用していますか

ア 次年度の学校目標設定に活かす  イ 生徒指導に活かす  ウ 学校PRに活用する  エ 学校運営の改善に活かす  オ その他

### Ⅲ 産学連携・地域連携に関する調査

学習指導要領では、産業現場等における実習を取り入れるなどの就業体験の機会を積極的に設けることが謳われています。このことを踏まえ、現在のインターンシップへの取組と、今後の取組についてお答えください。

なお、本調査では、デュアルシステムとは連続であれば1ヶ月以上、週ごとであれば3ヶ月以上の就業体験とします。

1 インターンシップについて

(1) インターンシップの実施について伺います。

ア 実施している  イ 検討中  ウ 実施していない

(2) (1)で「はい」と回答した学校に伺います。(対象生徒が複数回実施している場合は主なもの)

① 実施学年

② 参加者

③ 実施時期

ア 長期休業中  イ 授業日  月

④ 実施期間

⑤ 卒業の単位として認定の有無

ア する  イ しない

⑥ 実施上の問題点はどんなことですか。(3つ以内)

ア 受け入れ企業の問題  イ 事前・事後の打合せ  ウ 校内指導体制  エ カリキュラムとの関連  オ 安全対策  カ その他

(3) (1)で「はい」または「検討中」と回答した学校に伺います。

インターンシップが実施できない理由は何ですか。(複数回答可)

ア 地域に企業が少ない  イ 費用  ウ 指導体制  エ 日程  オ その他

(4) 2020年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います)

ア 全員に実施している  イ 一部の生徒に実施する  ウ 全く実施しない

2 デュアルシステムについて

(1) デュアルシステムの実施について伺います。

ア 実施している  イ 実施していない  ウ 検討中

(2) (1)で「はい」と回答した学校に伺います。

① 実施形態

② 実施学年

③ 参加者

④ 実施期間

⑤ 卒業の単位としての認定の有無

ア する  イ しない

(3) (1)で「検討中」と回答した学校に伺います。

実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可)

ア 受け入れ企業が少なから  イ 時間割上、編成できないから  ウ その他

3 地域との連携について

(1) 生徒による地域活動を実施していますか。

ア 実施している  イ 検討中(する方向で)  ウ 実施していない

(2) (1)で「はい」と回答した学校に伺います。

① 主たる目的(3つ以内)

ア 生徒の地域理解  イ 地域の学校理解  ウ 学校のPR  エ 郷土愛の育成  オ 地域貢献  カ その他

② 活動内容(3つ以内)

- ア 清掃活動  イ 福祉施設等への訪問  ウ イベント[祭りなど]への参加  エ 交通安全指導  オ ものづくり教室  カ 出前授業  
 キ その他

(3) 地域の力を生徒の技術指導に活かすことを実施していますか。

- ア 実施している  イ 検討中(する方向で)  ウ 実施していない

(4) (3)でア、イと回答した学校に伺います。

① 地域の力の対象(複数回答可)

- ア 地場企業  イ 地域住民  ウ 近隣の大学・高専等  エ その他

② 実施時期(複数回答可)

- ア 授業中  イ 放課後  ウ 長期休業中  エ 休日  オ その他

4 高・大学等連携について

(1) 大学や専門学校等との連携を実施していますか。

- ア 実施している  イ 検討中(する方向で)  ウ 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 連携内容(3つ以内)

- ア 単位の修得  イ 知識・技術的な支援  ウ 授業補助(チューター)  エ 施設利用  オ その他

② 実施場所(複数回答可)

- ア 連携先で実施  イ 自校で実施  ウ その他

5 学校開放講座について

(1) 学校開放講座を実施していますか。

- ア 実施している  イ 検討中  ウ 実施していない

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。

① 対象者(複数回答可)

- ア 小学生  イ 中学生  ウ 高校生  エ 保護者  オ 一般人  カ その他

② 内容(複数回答可)

- ア ものづくり  イ パソコン  ウ CAD  エ その他

③ 講座日数(断続を含む)

- ア 5日以下  イ 10日以下  ウ 11日以上

#### IV 学習指導・評価に関する調査

##### 1 生徒による授業評価について

(1) 生徒による授業評価を実施していますか。

- ア 実施している  イ 検討中  ウ 実施していない

(2) (1)でアと答えた学校に伺います。

i. 授業に還元できていますか

- ア できている  イ できていない  ウ どちらともいえない

ii. iでアと答えた学校に伺います。どのように還元できていますか

- ア 授業の教授法の改善  イ 生徒の学習習慣の改善  ウ 生徒の学力向上  エ 教授法の研修・共有  オ その他

(3) 地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。

- ア 取り組んでいる  イ 検討中  ウ 取組はない

(4) (3)でアと答えた学校に伺います。

授業に還元できていますか。

- ア できている  イ できていない  ウ どちらともいえない

##### 2 学習評価の改善について

(1) 学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。

- ア 学校全体で取り組んでいる  イ 一部で取り組んでいる  ウ 取り組んでいない

(2) 改善のための体制づくりを行っていますか。

- ア 行っている  イ 行っていない

(3) 実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)

- ア 評定  イ 評点  ウ ルーブリック  エ 観点別評価  オ 自己評価  カ 生徒相互評価  キ パフォーマンス評価  ク ポートフォリオ評価  ケ その他

(4) 観点別評価について伺います

i. 観点別評価に取り組んでいますか

- ア 導入している  イ 検討中  ウ 取り組んでいない

ii. どのように取り入れていますか。記述してください。

#### 2021年度 学校経営委員会調査項目(悉皆調査1)

## V 工業科教員の再任用に関する調査(悉皆調査)

(この調査項目Vは各会員校の校長先生にお願いするものです)

平成14年度より定年退職者の希望者を対象に再任用制度が導入されていますが、新規採用にも影響がでるものと考えられます。若い教員が不足している現在、今後の工業教育を推進していく上でも重要な課題であると考えます。この調査は各都道府県の現状を把握し、新規採用教員確保をどのような視点から進めていくか、その手だてを探る資料とするものです。

あなたの学校で、2020年度末における工業科教諭の退職者は何名ですか	<input type="text"/> 名
そのうち再雇用ではなく、再任用教諭になったのは何名ですか	<input type="text"/> 名
2021年度の工業科教諭での新規採用教諭は何名ですか	<input type="text"/> 名

【注】

- 1.定時制、通信制併設の場合は、合計数を記入してください。
- 2.工業科教諭とは管理職以外の教員です。
- 3.再任用教諭とは、各学校の工業科教諭の定数枠に算入されることを基本とする、以下の方々です。

(教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭)

- ①現任教諭と同等の勤務条件である教諭
- ②現任教諭の8割程度の勤務条件である教諭
- ③現任教諭の5割程度の勤務条件で、定数枠は0.5人分として算入される教諭

## VI 地域との連携等に関する調査(悉皆調査1)

調査表入力上の注意

- (1)この調査は、各都道府県における中学校等へのPRや地域との連携に関する調査です。
- (2)この調査は、入学対策委員会の調査項目です。

## 1 学校PRの形態について

(1)次の各項目について、取り組んでいるものをチェックしてください。

- ア 学校案内パンフレット
  イ 体験入学 ホームページ
  ウ 学校説明会
  エ 中学校訪問
  オ 生徒研究発表会
  カ 行事への招待
  キ 地域の産業展等への出展
  ク 校内の作品展開催
  ケ 学校紹介ビデオ ポスター
  コ 親子ものづくり教室
  サ 訪問授業
  シ ロボット大会教室
  ス 中学校教員向け学校説明会・体験入学
  セ 中学校での出前文化祭

(2)その他特徴的な取り組みがあれば、ご入力ください。

## 2 地域との連携について

(1)特徴的な取り組みがあれば、実施内容をご入力ください。

実施内容
<input type="text"/>

## VII 次年度のアンケート項目に関して、ご要望があれば記述してください。

回答完了

昭和57年度以降の工業に関する学科新設状況(名称変更も含む)

(全工協会全国工業高等学校要覧より)

新設学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計		
IT工学																								4	4		
意匠情報										1																1	
インテリア	2																									2	
インテリア・建築									1																	1	
インテリアデザイン	2																						1			3	
映像デザイン	1																									1	
エネルギー技術											1															1	
応用化学	1																									1	
応用化学工学																			1	1						2	
応用技術			1																							1	
応用デザイン	1					2																				3	
オートモビル工学							1																			1	
開発土木	3																									3	
海洋開発	1																									1	
化学	7									1																8	
化学応用	1																									1	
化学技術	3						1		1	1																6	
科学技術	3					2		1	1	1					1											8	
化学系										1																1	
化学工学																			1							1	
科学工学							1									1										2	
化学工業	21															1	1									23	
化学システム	3																									3	
化学デザイン	1																									1	
画像工学	1																									1	
画像工学・電子情報									1																	1	
環境・電気情報システム	1																									1	
環境エネルギー																	1	1								3	
環境化学	2	1	4		1	1	1	1						1												12	
環境科学	1																							4		5	
環境化学システム									1																	1	
環境技術				1				1				1	1													4	
環境建設	3	1	1		1			1																		7	
環境建設工学										1																1	
環境建築					1																					1	
環境工学	6														1				1	1						9	
環境サイエンス		1																								1	
環境システム	6		1	3		1		1																		12	
環境設備			1										1													2	
環境テクノロジー					1																					1	
環境デザイン	1										1											1				3	
環境土木	1			1		2			1				1													6	
環境ビジネス				1																						1	
機械	12			2	2	2	1	3	4	1	4		1	1	4	6	7	2	1		1			3		57	
機械・エネルギー													1													1	
機械・材料工学																			1	1						2	
機械・自動車									3																	3	
機械・制御					1																					1	
機械・電気																	1									1	
機械・電気系									1																	1	
機械・電子機械									1			1				2					1					5	
機械・ロボット																			1	1		1				2	
機械化学	1																									1	
機械加工							1																			1	
機械技術	2																									2	
機械技術類												1														1	
機械系									2												1					3	
機械工学		1				1	1	2	2			1			1				3	2		2	1	1	1	19	
機械・建築システム																										1	
機械システム	16		2	2	2		2	1			2	1			2				1	1				5		37	
機械・情報技術																									1		1
機械制御												1										1				2	
機械生産システム	1																									1	
機械設備システム	1																									1	
機械創造																							1	1		2	
機械造船						1																				3	
機械テクニカル										1																1	
機械テクノロジー				1																						2	
機械テクノロジー系列										1																1	
機械デザイン									1																	1	
機械電気	3							3	1	1													2			10	
機械電気システム																						1				1	
機械電子																	1									1	
機械土木														1		1										3	
機械プランニング	1																									1	
機械類												1														1	
機械ロボットシステム																										1	
技術	1																									1	
基礎工学			1																							1	
キャリア技術								1																		1	
キャリアデザイン																							1			1	
京都伝統産業		1																								1	
教育情報																								1		1	
教養・生活																										1	
金属工学												1														1	
グラフィックアート	5																									5	
クラフト	1																									1	
クリエイティブデザイン								1																		1	
経営システム	1																									1	
建設	18					1	1			1	1			2		1	1	3								29	
建設・電子												1														1	

新設学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計
建設環境									1																1
建設技術	3																		1						4
建設技術類											1														1
建設工学	14		1	1				2			1								1	1					21
建設工業	1									1															2
建設システム	1			1																	1				3
建設造形	1																								1
建築	6			1				1	1						2	2	1							1	15
建築・建設																	1								1
建築・電気																		1	1						2
建築・木材	1																								1
建築インテリア	1							1	1	2															5
建築学																						1			1
建築環境				1	1	2																			4
建築技術																			1						1
建築技術系列										1															1
建築系									1																1
建築工学		1							1	1		1													4
建築システム	5		1	2	2	1																			11
建築情報					1																				1
建築設備									1											1					2
建築デザイン	3							2		2			1										1	5	14
建築都市工学										1															1
建築土木	1								3	1		1									1				9
建築ビジュアル								1																	1
工学I類	2															1									3
工学II類	2																								2
工学																					1				1
工学系																	1								1
工業	2	1						1								3	3	5	1				2	1	19
工業I群									2																2
工業II群									2																2
工業I類									1																1
工業II類									1																1
工業化学	5									1						1	2								9
工業技術	11	1	7	2		1		5	2	1			1		2	1	2	5	1	1			1	44	
工業技術類												1													1
工業デザイン	2										1														3
工業マイスター											1														1
航空工学								1																	1
航空車両整備	1																								1
工芸	2					1																			3
交通工学	1				1																				2
高分子技術	1																								1
高分子工学	1																								1
コミュニケーションシステム工学																						1			1
コンピュータ	2																								2
コンピュータAI																					1				1
コンピュータ応用技術	1																								1
コンピュータ機械工学	1																								1
コンピュータテクノロジー						1																			1
材料化学	2					1									1										4
材料技術	17												4								1				22
材料工学	1																								1
材料設備					1																				1
産業	1	1							1		1														4
産業革新																									2
産業技術	3			1				1	1										1	1					6
産業技術II科	1																								1
産業工学											1														1
産業デザイン	4	1							1																6
システム化学	5										1														6
システム機械	1					1																			2
システム工学	1				1			1	1																4
システム工学系																					1				1
システム工業									1																1
システムサイエンス	1																								1
システム情報											1														1
自動車	5							2		1	1				1	1	1				2			14	
自動車機械システム						1																			1
自動車工学	2	1																							3
自動車整備	1								1		2				1										5
住環境システム									1																1
住居デザイン	1																								1
情報	6														1										7
情報科学	6			1	1				2																10
情報環境									1																1
情報機械	1																								3
情報技術	81								2		1				1	1	1		1	1					87
情報技術分野										1															2
情報ケミカル	1																								1
情報建設	1																								1
情報工学	2					1			1																6
情報システム	8					1	1	1	1		1										1	1			13
情報処理	1																								1
情報制御	1																								1
情報繊維	2																								2
情報通信系列																									1
情報通信工学	2				1	1										1									5
情報通信システム					1											1									2
情報テクノロジー																									1
情報デザイン									1															3	4
情報電気						1																			1
情報電子	20			1	1	1	1	1			1														27

新設学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計
情報電子系列										1															1
情報ビジネス							1																		1
情報メディア																	1								1
情報理数	1																								1
食品工業	1																								1
新素材工学																				1					1
数理										1															1
数理工学	3								1																4
生活化学	1																								1
生活工学																	1								1
生活文化																				1					1
制御技術					1																				1
制御工学								1							1				1	1		1			5
制御システム	1																								1
制御情報				1	1																				2
生産機械	1																								1
生産技術		1			3									1											5
生産工学	1										1														2
生産システム	3			1	1					1															6
生物化学	1																								1
製薬技術	1																								1
設備・エネルギー													1												1
設備工業	5																								5
設備システム	13																								13
セラミック	9															1	1								11
セラミックアーツ									1																1
セラミック化学										1															1
染織技術	1																								1
繊維工業	3																								3
繊維工芸	1																								1
繊維システム	2																								2
染織デザイン	2																								2
繊維デザイン	3												1												4
染色システム	1																								1
造形																					1				1
総合											1	4			2	1	1	5							14
総合科学										1															1
総合科学類											1														1
総合技術	7	4				3	1	2				1	1		1				1	1					22
総合工科																									2
総合工学						1				1	1									1	1				3
総合情報										1															1
総合造形					1		1																		2
総合デザイン											2														2
総合電気			1		1																				2
総合電気電子システム								1																	1
創生工学																								1	1
創造技術									2													1			3
創造工学											1									1	1				3
素材化学	1																								1
素材システム	1																								1
地域創造工学																							1		1
通信工学	1																								1
テキスタイル工学	3																								3
テキスタイルデザイン	4											1													5
テキスタイルデザイン工学	1																1								2
テクニカル工学								1																	1
デザイン	6							1			2		1		1	1	1								13
デザイン・絵画													1												1
デザイン工学	1							1																	2
デザインシステム	1																								1
デジタル工学								1																	1
鉄道									1																1
デュアルシステム								1																	1
電気	15			1	1		1	3	3				1	1	1	4	5	6	1		1			1	44
電気・機械																									1
電気・建築														2											2
電気・情報技術									4									1							5
電気・電子	3		1		1	1	2	2															1		11
電気・電子工学									1																1
電気・エネルギー																						1			1
電気エネルギー	2															1									3
電機応用工学						1																			1
電機機械									1																1
電機技術				1																					1
電機技術類												1													1
電気系									2																2
電気建設システム															1										1
電気建設工学																									1
電気工学	1	1				1		1	1				1										1		9
電気システム	2	1		2		1									1	1	1						2		11
電気情報	2				1	1			3	1	1	1			1								2	2	15
電気情報系																					1				1
電気情報工学								1															1		2
電気情報システム	2		1							1												1			5
電気設備												1													1
電気通信	1																								1
電気テクノロジー																									1
電気電子										1											1	1			4
電気電子工学																					1		1		2
電気電子システム				1					1																2
電子情報システム	2		1						1																4
電子	22							1									1	1							25
電子・情報												1													2

新設学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計
電子機械	200	1	2	1	2			1	1		1		1	1	3	1	1			1				1	218
電子機械工学												1													1
電子技術	2																								2
電子工学	6	1						1				1			1			1	1						12
電子工業	1																								1
電子コミュニケーション	1																								1
電子システム			1		1			1																	3
電子情報	11	1				2							1	1			1	1	1			1			20
電子情報技術										1															1
電子制御	2																								2
電子通信		1																							1
電子電気	5			1																					6
電子物質工学																								1	1
都市・建築	1																						1		2
都市環境				1	1								1												4
都市環境システム																					1				1
都市基盤工学															1										1
都市建設	1																								1
都市工学	8		1					1	2	1							1	1						4	19
都市システム	1						1																		2
土木環境													1												1
土木技術								1																	1
土木系									1																1
土木工学												1												1	3
土木	5							1	1	1						2	1							1	12
土木環境工学																									1
土木環境システム					1																	1			1
土木建築	2								1		1				1										5
土木情報	1																								1
土木地質	1		1																						2
II類																			1						1
パワーエレクトロニクス						1																			1
ビジネスコミュニケーション											1														1
ビジュアルデザイン	1																								1
美術デザイン	2																								2
ファッション技術								1																	1
ファッション工学	1																								1
福祉情報			1																						1
服飾デザイン	1																								1
普通科ベーシック群									1																1
物質化学																							1		1
物質工学								1																	1
プロジェクト工学																			1	1					2
プロダクト工学							1																		1
プロダクトデザイン	1															1	1								3
マテリアル	1																								1
マルチメディア系列										1															1
メカトロ情報	1																								1
メカトロニクス						2				1															3
メカトロニクス系列										1															1
メカニカル工学																								1	1
メカニク分野										1															1
モダンクラフト	1																								1
ものづくり																		2			1				3
ものづくり機械													1												1
ものづくり創造専攻																						1			1
薬品科学	1								1																2
やまがた創造工学											1														1
山形創造工学																									0
ユニバーサルデザイン								1																	1
理工	1	1																						1	3
理工科																									1
理工環境								1								1	1								3
理数工学					1										1				1	1					4
ロボット電気																									1
ロボット技術																									1
ロボット工学	1												1	1	1									2	6
ロボットシステム								1																	1
合計	776	23	29	34	35	41	31	75	69	43	38	25	22	9	40	43	52	43	26	18	23	16	23	44	1578
累計	776	799	828	862	897	938	969	1044	1113	1156	1194	1219	1241	1250	1290	1333	1385	1428	1454	1472	1495	1511	1534	1578	



廃止学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計
産業機械						1		1																	2
産業技術	2	1											1		1										5
産業工学																						1			1
産業デザイン	1									2															3
色染化学	14									1															15
システム化学						1				1															2
システム機械							1	1																	2
システム技術									1																1
システム工学									1		1								1	2					4
システム工業																			1						1
システム情報																		1							1
自然科学										1															1
自動車	12	1	1			2	2	1	1	5	2		1	1	2	2	1	2		1	1		1		39
自動車・造船	1																								1
自動車エンジニア										1															1
自動車工学	1							1	1	1															4
自動車整備科											1														1
自動制御								1		1															2
写真工芸	1																								1
住環境工学													1												1
住居デザイン	1																								2
情報				1	1					1											1				6
情報科学	2					1												2	1					1	7
情報機械											1														1
情報技術	6	1	2	2	1	3	2	3	8	6	1	3			2			3		1	3	3	1	7	58
情報コミュニケーション											1							2							3
情報システム	1							1		1						1		1			2			1	8
情報システム工学																									1
情報処理													1												1
情報紙類	1																								2
情報通信工学	2		1							1															4
情報デザイン	1																								1
情報電気										1															1
情報電子		1	1	2	1				1	1															8
情報マルチメディア											1														1
情報数学																	1								1
食品化学	1									1															2
食品工業	2	1																							3
水中土木	1																								1
教理環境											1														1
教理システム											1														1
教理情報											1					1									2
生活工学										1											1				2
制御										1															1
制御工学															1										6
制御システム									1							2	2	1							1
生産機械	3								1																4
生産技術											1														2
生産システム						1					1				1										4
生物科学									1																1
精密機械	4																								4
製菓技術									1																1
設計計測	9																								9
設備工学						1				1															2
設備工業	11	1						1	3	2				1	1										20
設備システム									2																5
セブミック	1								1	1															5
繊維										1															1
繊維工学	28				1				1						1										31
繊維工業	12																								13
繊維工芸	2																								2
繊維システム										1	1														2
繊維デザイン		1								1															2
染織	1																								1
染織技術		1																							1
染織デザイン																							1		1
総合学																					2		1		2
総合技術	1	3	3				1	1			2	1				2	1				1		2		18
総合工学																									2
総合情報										1															1
総合電気																					1				1
総合電気電子システム											1														1
創造技術																									1
創造工学																									2
造船	6				1	1		1																	10
素材化学				1																					1
第一機械	1																								1
第二機械	1																								1
郡域産業												1													1
郡管工学	1		2																						3
図案	1																								1
通信	3																								3
通信工学	1																								1
テキスタイル																		1	1						2
テキスタイル工学									1							1									2
テキスタイルデザイン	1	1									1														3
テキスタイルデザイン工学																									2
デザイン	7					1	1	1		2	1	1			1						3				19
デザイン工学										1						1									2
電気	81	7	11	19	23	17	5	14	27	22	19	6	6	2	7	3	3	4	2	3	5	3	8	4	301
電気・情報技術																									2
電気・電子	1				1					1															3
電気・電子機械														1											1
電気エネルギー				1						1															3
電気応用システム											1														1
電気化学	1	1	1																						3
電気技術	2							1	1																4
電気工学									1																1
電気工事	1																								1
電気システム																		1	1						2
電気情報															2		1	1							5
電気情報システム	1					1																			

廃止学科名	H10年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	計
電子技術									1																1
電子計測	1																								1
電子工学	2			1					1	2			1			1	1	1				1	2	1	14
電子工業	2		1	1					2		1														7
電子コミュニケーション																						1			1
電子材料	1																								1
電子システム																	1								1
電子情報			1		1				1	1	1			1		1	2								9
電子通信											1														1
陶器科学技術								1																	1
時計計器	1																								1
都市工学	1					1			1		1				2	1	1	1	1						10
都市デザイン								1																	1
土木	47	1	6	3	5	6	5	5	8	3	8	3	5	1	3		1	1			2	1		4	118
土木建築	1								1															1	3
土木工学	3								1		1									1					6
土木地質							1	1																	2
土木地質工学	1																								1
人間社会										1															1
美術	1																								1
物質工学																								1	1
プロダクトデザイン																	1	1							2
無線通信	3																1	1							3
メカトロ機械				1																					1
メカトロニクス																		1							1
スガニカルテクノロジー										1															1
スガニック											1											1			2
木材工芸	1																								1
モダンクラフト						2																			2
ものづくり																	1				1				2
薬学											1														1
薬業	1				1						1														3
薬業経営	1																								1
薬品科学									1																1
薬品製造	1																								1
薬品分析	1																								1
やまがた創造工学																	1								1
ユニバーサルデザイン																					1				1
窯業	9																								9
窯業機械	2																								2
理工								1																	2
理工科											1														1
理数工学																					1		2		3
ロボット工学									1																1
																									0
合計	781	47	67	98	98	108	50	111	154	123	120	38	43	28	42	51	61	70	21	35	37	25	41	50	2299
累計	781	828	895	993	1091	1199	1249	1360	1514	1637	1757	1795	1838	1866	1908	1959	2020	2090	2111	2146	2183	2208	2249	2299	

教育課程委員会 年度別調査項目一覧表

年 度	調 査 項 目	調 査 対 象
平成 22 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程・学科編成について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 23 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程・学科編成について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 24 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 25 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 26 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 27 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 28 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 29 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
平成 30 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和元年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 2 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査
令和 3 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉 皆 調 査

